

平成 2 3 年度

事 業 報 告 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

平成23年度事業報告

平成23年度は、未曾有の東日本大震災により、公演を中止せざるをえなくなるなど大きな影響を受けましたが、1日も早い被災地の復旧・復興を願って、8月に京都が世界に誇る一流のオーケストラ、京都市交響楽団をはじめ京都の音楽諸団体による「東日本大震災チャリティーコンサート“京都から願いを～音楽にのせて”」を開催し、2月には京都市交響楽団が被災地福島県に赴いてチャリティーコンサートを実施するなど、音楽を通して被災者の皆様に笑顔と元気を取り戻していただける事業に取り組みました。

そのような中、京都コンサートホールと5つの文化会館につきましては、指定管理者として2期目のスタートの年度にあたり、今後も末永く指定管理者の選定を受けることができるよう「中期経営計画」を策定し、財団の経営力強化に取り組みました。京都コンサートホールにおきましては、「世界レベルの音楽芸術の殿堂」という評価を獲得することができるよう、世界レベルの音楽芸術の鑑賞機会の提供と次代の音楽芸術を担う人材の育成、すべての人が文化芸術に触れ、楽しむことができる環境の整備、文化芸術活動団体への支援による文化芸術活動の活性化などの事業を実施しました。

文化会館では、京都市公共ホールの在り方検討委員会からの課題にしっかりと取り組むために、各館に地域文化芸術活動活性化協議会の設置やコーディネイター制度の導入、文化芸術活動パワーアップ支援事業など新たな取組を実施し、各地域の特性に応じた文化振興の拠点となることに重点を置いた取組を推進しました。

また、京都会館は4月1日から再整備事業が始まり、一時閉館となりますことから、当財団の指定管理期間は満了いたしますが、平成24年度につきましては、京都市から再整備に係る業務委託を受け、財団がこれまで培ってきた管理運営のノウハウを活かし、再整備事業にも尽力してまいります。

最後に、これまで長年の懸案でありました公益財団法人への移行につきましては、京都府公益認定等審議会からの認定基準に適合する旨の答申を受け、4月1日から公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団として新たなスタートをいたしました。今後とも京都市の文化芸術振興事業の担い手として市民の皆様により満足度の高いサービスを提供できるよう創意工夫を重ね成果を上げてまいります。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

1 自主・共催事業（33事業50公演1講座）

（1）「京都の秋 音楽祭」の開催 [9月17日（土）～11月23日（水・祝）]



写真1

「京都の秋音楽祭」は京都が世界に誇る文化芸術都市であることを国内外にアピールするとともに京都コンサートホールを代表する事業として15回目を迎えました。門川市長臨席のもと華やかなセレモニーと共に幕開けし、世界一流レベルのオーケストラ公演から一般市民参加によるリレーコンサートまで、15周年に相応しい規模と内容で、多くの市民の皆様を楽しんでいただきました。

ア 多くの市民を招待

「第15回京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」には、市民400名を無料招待し、京都市交響楽団常任指揮者・広上淳一氏指揮のもと若手ピアニストの田村響氏を迎え、生誕200年を迎えるリストのピアノ協奏曲と、クラシック音楽にあまり馴染みのない方々にも知られているチャイコフスキーの「くるみ割り人形」第2幕を演奏しました【写真1】。

イ 著名なオーケストラや演奏家による質の高い音楽鑑賞機会を提供

指揮者アントニオ・パッパーノ率いる「ローマ・サンタ・チェチーリア管弦楽団」が、京都コンサートホールに初めて登場し、オペラの国イタリアならではの生き生きとしたイタリア歌劇序曲集や管弦楽曲を披露するとともに、京都市の姉妹都市から3度目の来演となった「パリ管弦楽団」は、指揮者・音楽監督のパーヴォ・ヤルヴィ氏が、2003年に“京都・国際学生フェス”に参加した若手ピアニストのダヴィッド・フレイ氏とともに登壇し、フランスらしいエスプリ溢れるプログラムを披露し、世界最高水準の演奏に触れる機会を提供しました。

また、第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにおいて、日本の辻井伸行氏とともに史上最年少かつアジア人初の優勝を果たした中国・上海出身のハオチェン・チャンによるピアノ・リサイタルを開催しました。

ウ 『“音楽の檜舞台” 京都コンサートホール』をアピール

関西の音楽大学等8校が集結し、合同オーケストラと合唱団による全国初の試みによる演奏会を行いました。大学の垣根を越えて交流し、大学単独では不可能な大型演奏会を実現し、学生たちに貴重なオーケストラ・アンサンブルの機会を提供するとともに、若手音楽家たちにとっての『“音楽の檜舞台” 京都コンサートホール』をアピールしました。

(2) 質の高い演奏会の開催

ア 財団プロデュースでお届けする名曲シリーズ

モーツァルトの作品をシリーズでお聴きいただく「モーツァルト・ツィクルス」では、大友直人氏（京都市交響楽団桂冠指揮者）監修のもと京都市交響楽団により、26回目は、「リンツ」「パリ」「プラハ」と都市名を冠した人気の交響曲3曲を、27回目では、日本を代表するフルート奏者の工藤重典氏を迎え、フルート協奏曲など「楽器」をテーマにした管弦楽曲を特集しました。

イ 世界のカルテットの競演

アンサンブルホールムラタでの室内楽演奏会として、3つの弦楽四重奏団を取り上げました。フランスで活躍するドビュッシー弦楽四重奏団、同じくフランスを拠点にジャズも演奏するエベヌ弦楽四重奏団、世界で最も活動歴の長いロシアのボロディン弦楽四重奏団によるそれぞれ趣の異なるアンサンブルの妙をお届けしました。

ウ ホールが所有するチェンバロの活用

ホール所有のチェンバロを活用し、ケネス・ワイズ氏によるバッハの「ゴルトベルク変奏曲」演奏会や、京都出身のチェンバロ奏者である中野振一郎氏によるデビュー25周年記念演奏会などを開催しました。

(3) 財団のコーディネート力を活かした幅広い音楽ジャンルを提供



写真2

財団が有するコーディネート力を活かし、新たな聴衆の拡大を目指し、クラシック音楽ファンのすそ野を広げていくことはもとより、幅広いジャンルの音楽をオリジナル企画として制作・開催しました。

ア クラシック音楽ファンのすそ野の拡大

「平日昼間のワンコイン名曲コンサート」として恒例となった田隅靖子京都コンサートホール館長のお話で進行する“おんがくア・ラ・カルト♪”を、年3回（6公演）開催しました。価格面や公演内容を工夫し、市民の皆様が参加しやすく、クラシック音楽の魅力を多くの方々に知っていただく機会を提供しました。

イ 市民参加による音楽文化の振興と北山地域活性化事業との連携

これまで「ミュージックフリー」と併催していた「リレーコンサート」を独立して開催し、一般公募により選ばれた8組の市民演奏家がアンサンブルホールムラタの舞台に立ちその腕前を披露しました。

当日は、ホール周辺において開催された地域住民と連携する「北山ミュージック・フェスティバル」に参画し、“北山文化環境ゾーン”の一角を占める施設として、北山地域の活性化・まちづくりに貢献しました。

ウ 東日本大震災支援チャリティーコンサート

東日本大震災により被災された方々への追悼と被災地の1日も早い復旧と復興を願って急遽チャリティー・コンサートを企画し、仙台フィルハーモニー管弦楽団ゲストコンサートマスター・伝田正秀氏を迎え、京都市交響楽団・京都市立芸術大学・京都市立京都堀川音楽高等学校・京都市ジュニアオーケストラによる京都の“音楽の力”を結集して開催しました。チケット収入全額と会場での寄付金（計4,087,957円）を義援金としてNPO「音楽の力による復興センター」に寄付いたしました【写真2】。

エ 幅広いニーズに応える公演の開催

(ア) 様々なオーケストラの味わい

京都の聴衆に、オーケストラごとに味わいの異なる響きが楽しめる機会を提供する公演として、在阪のオーケストラ「大阪フィルハーモニー交響楽団」「日本センチュリー交響楽団」による演奏会を開催しました。

(イ) 京都出身の指揮者・佐渡裕氏の情熱あふれる舞台

国内外での活躍がめざましい京都出身の指揮者佐渡裕氏が、人気のプロ吹奏楽団シエナ・ウインド・オーケストラとともにエネルギッシュな演奏を披露しました。公演終盤には、楽器を持参した中高生たちも舞台上に上がり演奏に加わるなど、舞台と客席が一体となった公演となりました。

(ウ) 多彩な舞台芸術の紹介

日本の伝統文化を京都の尺八演奏家・三好荒山氏によるの演奏で紹介する「邦楽アンサンブル みやこ風韻」や、ヨーロッパの古楽器をリユート奏者のつのだたかし氏による愉快的な解説付きで楽しんでもいただく「タブラトゥーラ」など、多彩な舞台芸術の紹介に努めました。

(4) 日本屈指のパイプオルガンの活用



日本屈指のパイプオルガンの魅力を低廉な価格で紹介する「オムロン パイプオルガン コンサートシリーズ」を3公演開催しました。子どもたちにパイプオルガンに親しんでもらうための企画として、演奏を聴くだけでなく、実際にパイプオルガンに触れて親しみや興味を喚起するとともにレクチャーや楽器の工作体験な

写真3 どを織り交ぜた夏休み特別企画「パイプ

オルガンもの知り博士」を開催しました【写真3】。また、家族揃って音楽を楽しんでいた「クリスマスコンサート」では、京都市少年合唱団と共演しました。

(5) 未来の音楽芸術を担う若手音楽家や青少年の育成・支援

ア 小学生への音楽鑑賞機会の提供

市内全小学生約1万人を対象に、子どもたちにもわかりやすくクラシックの名曲をお話と共に紹介する京都市交響楽団による「小学生のための音楽鑑賞教室」を開催し、未来の音楽芸術を担う青少年の育成に努めました。

イ “未来の演奏家”の育成

“未来の演奏家”として音楽芸術を担っていく青少年を育成すべく財団と京都市交響楽団で運営している京都市ジュニアオーケストラは、定期演奏会を開催するとともに『第26回 国民文化祭・京都2011』において、東京・名古屋・徳島のジ

ジュニアオーケストラと共に「ジュニアオーケストラの祭典」に参加し、国民文化祭を盛り上げました。

ウ 音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成金制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会や若手音楽家による室内楽演奏会など6事業を支援しました。

(参 考) 平成23年度京都コンサートホール ホール利用助成金制度実施実績

事業名	事業日	主催者
下村実紗子 ピアノリサイタル	4月1日(金) アンサンブルホールムラタ	下村実紗子
立命館大学交響楽団 第150回定期演奏会	6月3日(金) 大ホール	立命館大学交響楽団
京都大学交響楽団 第189回定期演奏会	6月21日(火) 大ホール	京都大学交響楽団
洛南高等学校グリークラブ 第18回定期演奏会	10月6日(木) 大ホール	洛南高等学校グリークラブ
京都大学交響楽団 第190回定期演奏会	1月17日(火) 大ホール	京都大学交響楽団
大谷中高等学校吹奏楽部 第48回定期演奏会	3月29日(木) 大ホール	大谷中高等学校吹奏楽部

(6) 京都市交響楽団のフランチャイズホールとしての取組

京響楽員との協働による「オーボエ・ジャンクション」、「ブラス・アンサンブル」や、京都の“音楽の力”を結集した「東日本大震災支援チャリティーコンサート」の企画制作など、京都市交響楽団のフランチャイズホールであることをより一層市民にアピールし、京都市交響楽団の発展と京都の音楽芸術文化の振興に努めました。

Ⅱ 受託事業

1 指定管理者業務

「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を十分に果たすとともに、指定管理者として、利用料収入を増加させるため営業の強化に努め、京都市民の文化芸術の活動拠点となるよう、利用の促進に努めました。

(1) 施設利用（貸館）の受付状況

ア 利用実績

(ア) 利用率目標達成度

ホール利用率は、大ホールは東日本大震災による影響もあり、目標値を下回る結果となりましたが、アンサンブルホールムラタは目標値を5.2ポイント上回る過去最高の結果となりました。

(%)

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
利用率(日数)の目標値	大ホール	56%	58%	55%	58%
利用率(日数)の実績値	大ホール	53%	58%	53%	55%
目標達成度	大ホール	94.6%	100.0%	96.4%	94.8%
利用率(日数)の目標値	アンサンブルホールムラタ	49%	51%	47%	52%
利用率(日数)の実績値	アンサンブルホールムラタ	46%	53%	50%	57%
目標達成度	アンサンブルホールムラタ	93.8%	103.9%	106.3%	109.6%

(イ) 入場者数

年間入場者数は、東日本大震災の影響もあり、前年度を2%下回りましたが、目標値を2.0ポイント上回る結果となり約25万人の方々にご来館いただきました。

また、平成7年開館以降の総入場者数は3,827,457名となりました。

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
入場者数の目標値	236,708名	236,708名	244,495名	244,495名
入場者数の実績値	244,495名	243,004名	255,072名	249,499名
目標達成度	103.3%	102.7%	104.3%	102.0%

(ウ) 利用料金収入

利用料金収入は、東日本大震災の影響もあり、過去最高額の前年度を4%下回る結果となりましたが、過去2番目の収入となりました。

(単位：千円)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
ホール料金収入	157,217	161,552	180,751	174,786
駐車場利用収入	23,996	24,099	23,908	21,849
合 計	181,213	185,651	204,659	196,635

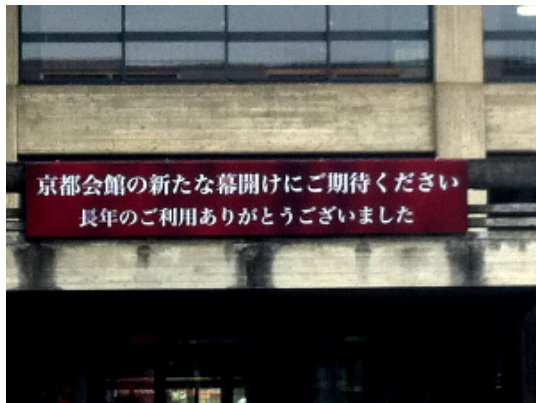
(2) 施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から16年が経過しました。このため、施設の所有者である京都市の施設改修工事、修繕のほか、財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修・修繕に取り組みました。

(参 考) 主な修繕事例(財団施工分)

修 繕 内 容
大ホール1階廊下等カーペット張替
高圧機器制御用蓄電池取替
大・ムラタホール二点吊・三点吊マイク装置取替
インフォメーションディスプレイ部品交換

■ 京都会館



平成22年度に開館50周年を迎えた京都会館は、京都における総合舞台芸術の拠点「文化の殿堂」として京都市民に愛されてきましたが、再整備事業のため、平成23年度をもって一時閉館することになりました。

最終年としてオープンカフェ、オータムフェスタ、歴史文化講座など、市民の皆様に親しみやすく、記憶に残るような事業に取組ました。今後は、再整備後の開館に向けて準備を進めてまいります。

I 自主・共催事業 （6事業4公演4講座5イベント）

（1） 京都の秋音楽祭15周年記念事業

京都コンサートホールを中心として開催されている「京都の秋 音楽祭」15周年を記念して、ここ数年上演のなかったオペラ「フィガロの結婚」を、京都市交響楽団常任指揮者広上淳一氏の指揮による演奏で開催しました。

（2） 青少年の文化芸術活動の支援

若者による音楽とダンスの祭典「ライブ・キッズ」を主催する財団法人京都市ユースサービス協会と共催で実施し、青少年による文化芸術活動を支援しました。

（3） 歴史文化講座の開催

会館が所在する岡崎の地の歴史的役割を振り返り、この地域の未来をも考える機会として、「建築」「宗教」「琵琶湖疏水」「内国勸業博覧会」をテーマに取り上げ、各々の専門家が講師を務める連続講座「京都会館歴史文化講座 歴史と文化の町『岡崎』」を4回シリーズで開催しました。

（4） 岡崎地域活性化まちづくり事業

京都屈指の文化ゾーンである“岡崎”地域の活性化に寄与する取り組みとして、年4回の「心ふれあうオープンカフェ&アートギャラリー」の開催や「岡崎オータムフェスタ」への参画や平成23年度は、京都岡崎魅力づくり推進協議会による、岡崎の新しい夜の魅力創出の試みとして、平成23年10月27日から30日までの4日間、「岡崎・あかりとアートのプロムナード」が開催されました。京都会館においても、京都会館「あかり庭」と題し、開催期間中、会館壁面、中庭噴水のライトアップや京都会館の建物等を撮影した写真をプロジェクターを用いて会館中庭にスライド上映する等、財団のコーディネート力を活かした取組を実施しました。また、京都造形芸術大学制作の

「ねぶた」オブジェや岡崎中学校の制作の「あんどん」オブジェを展示する等、市民との多様な連携を図りました。

Ⅱ 受託事業

1 指定管理者業務

(1) 施設利用（貸館）の受付状況

指定管理者として施設の使用許可や使用料金の徴収を行うとともに、会館が京都市民の文化活動の拠点となるよう利用の促進に努めました。

ア 利用実績

(7) 利用率目標達成度

施設や舞台機構の老朽化により今日的な催し物に対応できないという課題や東日本大震災の影響などから、使用率は、第1ホール・第2ホール共、目標値を達成できませんでしたが、京都市民の憩いの場として親しまれている中庭を活用した年4回の「心ふれあうオープンカフェ&アートギャラリー」には多くの市民の皆様に来場していただきました。

(第1ホール)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
使用率（日数）の目標値	72%	75%	73%	73%
使用率（日数）の実績値	65%	67%	76%	69%
目標達成度	90.3%	89.3%	104.1%	94.5%

(第2ホール)

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
使用率（日数）の目標値	70%	71%	69%	69%
使用率（日数）の実績値	64%	67%	69%	59%
目標達成度	91.4%	94.4%	100.0%	85.6%

(2) 施設・設備の維持管理

京都会館は、51年間の半世紀の幕を降ろし、平成24年3月末日をもって一時閉館することとなりました。

平成23年度は、無事に閉館が迎えることができるよう、京都市との指定管理契約に基づき、安全管理に重点を置き、修繕に取り組みました。

(参 考) 主な修繕事例 (財団施工分)

修 繕 内 容
第 1 ホール搬出入用昇降機ワイヤーロープ取替修繕
第 1 ・ 2 ホール客席背部分修繕
ホール客席固定不良箇所修繕

(3) 京都会館再整備事業

平成 2 4 年 3 月末日をもって、再整備のため一時閉館となった京都会館につきましては、平成 2 4 年度から京都会館再整備に係る業務委託を受け、これまで長年にわたり施設の管理運営を行ってきた財団のノウハウを活かし、積極的に再整備事業に参画してまいります。

(4) 京都市立堀川音楽高校からの業務受託

京都市立音楽高等学校は、平成 2 2 年 4 月に「京都市立京都堀川音楽高等学校」に校名を改称し、元京都市立城巽中学校敷地に移転しました。これを機に、学校教育に支障のない範囲で音楽ホール、レッスン室及びギャラリーの貸出を行うこととなり、当財団は、これまでのホール・会館における管理運営のノウハウを生かし京都堀川音楽高等学校の目的外使用に係る業務を平成 2 3 年度も受託し、市民の文化芸術活動の振興に努めました。

(5) 公共団体からの受託事業

京都市自治記念式典、京都市消防団家族の集い等、京都市の催し物について企画及び開催業務を受託しました。

■ 地域文化会館（東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティ，北文化会館，右京ふれあい文化会館）

地域文化会館では、地域の特性に応じた文化芸術活動の拠点となることに重点を置き、様々な事業に取り組みました。

I 自主事業（４９事業８８公演４講座）

（１）文化会館における新しい取組

地域文化会館では平成２３年度から財団の運営目標である次の４点を実施するため以下の事業を実施しました。

- ① 文化芸術活動の拠点（ネットワークの中心）としての機能を強化すること。
- ② 誰もが容易に文化芸術にふれ、親しむことができる環境を整備し、効果的に提供すること。
- ③ 文化芸術団体等への支援により市民の文化芸術活動を活性化させること。
- ④ 財団が管理するホール・会館・京都市交響楽団との相互連携による総合的運営を実現すること。

ア 地域文化芸術活動活性化協議会の設置



写真４

文化会館の利用者であるパートナーシップ団体，地域行政の代表者，地元教育機関等の参加による「地域文化芸術活動活性化協議会」【写真４】を各地域文化会館に設置しました。当協議会を通じて地域との連携・協働を推進するために，地域の文化芸術情報を収集してアウトリーチ事業の需要の調査や，地域との連携事業を計画するなど，地域における文化芸術活動の活性化に寄与しました。

呉竹文化センターでは，藤森雅楽と藤森太鼓とのコラボレーションを企画しました。

イ コーディネーター制度の導入

地域文化会館では，市民の文化芸術活動への参加を促進し，地域の文化施設や教育機関，さらに文化芸術団体等とのネットワークを形成するため，コーディネーターを各館に配置しました。右京ふれあい文化会館のコーディネイトにより京都市立広沢小学校とパートナーシップ団体との連携による NEO 吹奏楽団オータムコンサートを学校講堂で開催し，小学生児童，保護者をはじめ近隣の住民にも参加いただき，文化芸術活動の活性化につなげました。

ウ 文化芸術活動パワーアップ支援事業の新設

音楽、演劇、舞踊、伝統芸能などの舞台芸術や絵画・工芸品の作品展示など幅広い市民の文化芸術活動に対し、経費の一部を助成すると共に、各地域文化会館のコーディネーターが施設活用や舞台づくりのアドバイスをを行い、芸術性や創造性の向上に向けた支援を行う「文化芸術活動パワーアップ支援事業」を新設しました。

呉竹文化センターにおいては、ヴァイオリンとリコーダーによるジョイントリサイタルや映画事業に支援を行いました。

エ 文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施



写真5

京都市から委託を受けて取り組んできたフランチャイズ（活動拠点）化事業を、平成23年度から財団の自主事業として実施し、これまでのフランチャイズ団体を地域文化会館のパートナーと位置付け、鑑賞型の無料公演に加えて、地域の子どもたちを対象とした教育プログラム【写真5】を教育機関、地元の企業とも連携し実施することで文化芸術活動の活性化やネットワークの強化を図りました。

（参 考）平成23年度パートナーシップ団体

文化会館名	パートナーシップ団体（種別）
東部文化会館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル（器楽演奏） 関西フルートオーケストラ（器楽演奏）
呉竹文化センター	墨染交響楽団（管弦楽） 京・伏見音楽サークル和音（吹奏楽）
西文化会館ウエスティ	京都フィルハーモニー室内合奏団（室内楽） 吹奏楽団京都ムジークフェライン（吹奏楽）
北文化会館	京響市民合唱団（合唱）
右京ふれあい文化会館	京都ウインドオーケストラ（吹奏楽） NEO吹奏楽団（吹奏楽）

※文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

芸術文化活動を行う団体（演劇・音楽・ダンス）等に文化会館を活動拠点として提供し、会館のパートナーとして地域の文化芸術活性化に共に取り組むもので、

- 1 ホールの空き時間を練習場所として提供する
- 2 市民との交流を深め、地域の文化芸術を活性化するための公演、ワークショップ、教育プログラム、地域文化イベントへの参加等を行う
- 3 会館を使用する団体が行う公演については、当該団体、財団法人京都市音楽芸術文化振興財団との共催事業とする

平成23年度は、19件の応募があり、第1次、第2次の2回の選考委員会の結果、上記9団体に決定しました。

（２）教育機関との連携及び教育活動への支援

中学校・高等学校の吹奏楽部の音楽活動を支援するため、東部文化会館では山科・醍醐地域の中学・高等学校吹奏楽部による「プラスバンド・イーストフェスティバル」を、西文化会館ウエスティでは西京区内の中学校吹奏楽部による「ウエスティ吹奏楽祭」を、右京ふれあい文化会館では右京区内の中学校吹奏楽部による「右京ふれあい合同演奏会」を開催しました。また、西文化会館ウエスティでは、京都市立芸術大学との連携により「ウエスティ音暦（おとごよみ）」３公演、北文化会館では、「京芸ルネッサンス 2011 コンサートシリーズ 文化会館コンサート」を２公演開催しました。

（３）文化芸術活動を担う人材育成と地域の活動団体の交流促進



写真6 教室による合同発表会「くれたけバレエ発表

会」を開催しました。北文化会館では、近隣に大学が多くあることから、北区を中心とした大学音楽サークルの出演による合同演奏会「KITABUN ミュージックフェスティバル」を開催し、団体間の交流促進に努めました。東部文化会館では、地域のコーラス団体による合同発表会（第7回コーラス・フェスティバル in 山科・醍醐）を、右京ふれあい文化会館でも同様のコーラスフェスティバルを開催し、音楽交流を図りました。

（４）全ての市民に文化事業を楽しむ機会を提供



写真7 とともに、北文化会館では、身体に障がいの

ある方でも一緒に楽しめる「KITABUN リムコンサート」を開催しました。

（５）地域社会への関心



写真8 「右京ブロック児童館まつり」を開催しました。

西文化会館ウエスティでは、地域の幼稚園・保育園児が舞台芸術に親しむ機会として「ウエスティちびっこステージ」【写真8】を、東部文化会館では、子供たちと文化・自然環境との関わりをテーマに地域団体と連携した、「子どもの文化フォーラム」を、右京ふれあい文化会館では、文化芸術に親しみながら子供の健全な育成と子育てを支援する

（６）世界の民族音楽に触れる機会を提供



写真9

国際都市「京都」ならではの企画として、市民が世界の民族音楽にふれ、多様な音楽を楽しみ、関心や理解を深める機会を東部文化会館（ポルトガルギターとマンドリン）、呉竹文化センター（中国琵琶）、右京ふれあい文化会館（ワールドミュージックフェスタ）【写真9】の3館において、提供しました。

（７）芸術・芸能の振興



写真10

北文化会館では、地元で伝承される和太鼓の演奏会を開催し、伝統芸能の継承の役割を果たしました。また、呉竹文化センターでは、京都市内の大学の落語研究会が中心となり「学生お笑い呉竹寄席」【写真10】を、8月と3月の2回にわたり、実施しました。

（８）各会館共通事業の実施

芸術性の高い上質な映画作品を鑑賞する「映画上映会」をゴールデンウィークに「オカンの嫁入り」を5館で、6月には特別上映会として「武士の家計簿」を、京都会館を含む6館で実施し、映像芸術の振興を図りました。

Ⅱ 受託事業

1 指定管理者業務

(1) 施設利用（貸館）の受付状況

地域文化会館の指定管理者として、施設の使用許可や利用料金の徴収を行うとともに、地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点となるよう割引制度などを導入し利用の促進に努めました。

ア 利用実績

東部文化会館

(ア) 利用率目標達成度

22年度実績を勘案し23年度目標を設定しましたが、4%減となり、前年度実績の2%減となりました。

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
利用率（日数）の目標値	54%	59%	59%	62%
利用率（日数）の実績値	55%	54%	60%	58%
目標達成度	101.8%	91.5%	101.7%	93.5%

(イ) 入場者数及び利用料金収入

区 分	平成23年度
入場者数（ホール）数値	39,544 名
利用料金収入	29,791（千円）

※文化会館については平成23年度から利用料金収入となったため、前年度までの比較はなし。

呉竹文化センター

(ア) 利用率目標達成度

平日の利用が大幅に増加したため、目標値より14%、前年度実績より10%を上回る利用率となり、指定管理期間で最高の使用実績値となりました。

区 分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
利用率（日数）の目標値	62%	63%	63%	64%
利用率（日数）の実績値	56%	58%	68%	78%
目標達成度	90.3%	92.1%	107.9%	121.9%

(イ) 入場者数及び利用料金収入

区 分	平成 23 年度
入場者数（ホール）数値	65,319 名
利用料金収入	39,600（千円）

※文化会館については平成 23 年度から利用料金収入となったため、前年度までの比較はなし。

西文化会館ウエスティ

(ア) 利用率目標達成度

新規利用が増加したことから、目標値より 3%，前年度実績より 9%を上回る利用率となりました。

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
利用率（日数）の目標値	55%	55%	53%	55%
利用率（日数）の実績値	52%	44%	49%	58%
目標達成度	94.5%	80.0%	92.5%	105.5%

(イ) 入場者数及び利用料金収入

区 分	平成 23 年度
入場者数（ホール）数値	33,530 名
利用料金収入	30,267（千円）
駐車場利用料金収入	3,656（千円）

※文化会館については平成 23 年度から利用料金収入となったため、前年度までの比較はなし。

北文化会館

(ア) 利用率目標達成度

定期的な営業活動によるリピーターの確保により、目標値より 4%，前年度実績より 2%上回る結果となり、指定管理期間で最高の使用実績値となりました。

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
利用率（日数）の目標値	80%	77%	76%	76%
利用率（日数）の実績値	72%	67%	78%	80%
目標達成度	90.0%	87.0%	102.6%	105.3%

(イ) 入場者数及び利用料金収入

区 分	平成 23 年度
入場者数（ホール）数値	40,744 名
ホール料金収入	36,099（千円）

※文化会館については平成 23 年度から利用料金収入となったため、前年度までの比較はなし。

右京ふれあい文化会館

(ア) 利用率目標達成度

リピーターの確保と新規利用者や平日利用者が増加したことにより、目標値より 13%，前年度実績より 6% 上回る過去最高の結果となりました。

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
利用率（日数）の目標値	60%	60%	63%	65%
利用率（日数）の実績値	59%	63%	72%	78%
目標達成度	98.3%	105.0%	114.3%	120%

(イ) 入場者数及び利用料金収入

区 分	平成 23 年度
入場者数（ホール）数値	37,398 名
ホール料金収入	37,460（千円）
駐車場利用料金収入	4,447（千円）

※文化会館については平成 23 年度から利用料金収入となったため、前年度までの比較はなし。

(2) 舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術，舞台音響，舞台照明等に関する企画業務を受託しました。

これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し，利用者はもとより，観客に満足していただける舞台運営に努めました。

また，全施設において，「舞台芸術活動なんでも相談会」を開催し，当該施設の利用者に限らず，市内各所での催しや学校での発表会における舞台のつくり方等について，随時の相談会を実施しました。

(参 考) 平成 23 年度 催し物の企画業務に関する受託状況

会 館 名	受託件数	受 託 内 容	収 入 金 額
東部文化会館	16 件	バレエ・保育園照明プラン他	503,788 円
呉竹文化センター	16 件	バレエ・演劇照明プラン他	735,000 円
西文化会館ウエスティ	12 件	老人クラブ等音響チーフ他	227,850 円
北文化会館	9 件	区民まつり等照明プラン他	234,460 円
右京ふれあい文化会館	12 件	ダンス・バレエ照明プラン他	551,250 円
計	65 件		2,252,348 円

（３）施設・設備の維持管理

東部文化会館は２５年，呉竹文化センターが２１年，西文化会館ウエスティが１８年と，いずれも開設から相当な年月を経ています。このため，施設の所有者である京都市による施設改修工事，修繕のほか，財団におきましても，京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修・修繕に取り組みました。

（参 考）主な修繕事例（財団施工分）

ホール・会館名	修 繕 内 容
東部文化会館	ホール出入口カーペット修繕
呉竹文化センター	音響調整卓取替修繕
西文化会館ウエスティ	ホワイエカーペット張替
北文化会館	空調機一部修繕
右京ふれあい文化会館	ホール・創造活動室・リハーサル室扉修繕

■ 京都市交響楽団

I 自主事業（23事業29公演）

常任指揮者として4年目を迎えた広上淳一氏のもと、これまでに培ってきた京響カラーをさらに充実させ、各演奏会においては、古典派から近・現代そしてポピュラーな楽曲まで幅広く魅力的なプログラミングに取り組み、国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え、京響＝広上でしか聴けないオリジナリティーあふれる演奏を確立しました。

また、積極的に広報活動を行い、京都市民をはじめとする多くの皆様に京都市交響楽団の活動をアピールする一方で、未曾有の東日本大震災を経験し、京都市内でのチャリティーコンサートの開催だけでなく、福島県に赴き被災者支援コンサートを実施することを通じ、あらためて交響楽団として、交響楽団だからこそ提供することのできる音楽による癒しの力と京都市交響楽団の存在意義を再確認することができました。

（1）定期演奏会

ハイドンの「軍隊」やモーツァルトのバレエ音楽「レ・プティ・リアン」をはじめ、奏者のアンサンブル力が要求されるバルトークの「管弦楽のための協奏曲」やストラヴィンスキーの3作品、合唱を伴うマーラーの大曲「交響曲第3番」など古典派から近・現代までのレパートリーをバランスよくプログラミングした演奏会を開催しました。

また、指揮者には、常任指揮者の広上淳一氏、第4代常任指揮者でNHK交響楽団の正指揮者の外山雄三氏、読売日本交響楽団の正指揮者下野竜也氏をはじめ、フランス国立リヨン歌劇場管首席指揮者の大野和士氏、元ベルリン・フィル管弦楽団コントラバス首席奏者で指揮者としても才能を発揮するナビル・シェハタ氏や50年を超えるキャリアを誇り数々のトップオーケストラを指揮してきたロベルト・ベンツィ氏など国内外の若手から巨匠まで幅広く迎え、ソリストには、ヴァイオリニストのゲザ・ホッス＝レゴツキ氏、有希 マヌエラ・ヤンケ氏、郷古廉氏、ピアニストのマルクス・グロー氏、キム・ソヌク氏といった若手実力派を招き、充実した魅力ある演奏会の提供に努めました。

（2）特別演奏会

ア スプリングコンサート

「学生の街・京都」「文化の街・京都」をアピールし、学生や市民の皆様に気軽にリーズナブルにクラシック音楽を楽しんでいただくため、平成23年度は、日本の映画音楽にスポットを当て、ピアニストには高橋多佳子氏、ナビゲーターには千住明氏を迎え、宇宙戦艦ヤマト、おくりびと、砂の器～ピアノ協奏曲「宿命」～、七人の侍、八つ墓村、訓練と休憩の音楽・ワルツ～「3つの映画音楽」～、ゴジラ～SF交響ファンタジー、風林火山（アンコール）を演奏しました。

なお、本公演については、東日本大震災発生後間もない4月7日の開催であったため、御来場いただきましたお客様にも周知のうえ、入場料収入の全額を東日本大震災被災地の支援コンサートを実施している「音楽の力による復興センター事業」（事務局公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団）に寄附しました。

イ 第九、ニューイヤーコンサート

年末恒例の第九コンサートは、常任指揮者広上淳一氏により1曲目のプログラムを変えて2日間の公演を実施しました。

また、ニューイヤーコンサートには、兵庫芸術文化センター管弦楽団レジデント・コンダクターの岩村力氏を迎え、ヨハン・シュトラウスⅡ世の喜歌劇「こうもり」序曲やオッフェンバックの歌劇「ホフマン物語」間奏曲等、新年を迎えるにふさわしい華やかな曲目を楽しんでいただきました。

なお、第九の2公演、ニューイヤーコンサートともにチケットは完売となり、多くの方々に年末年始にクラシック音楽を楽しんでいただきました。

(3) 市外公演

大阪特別公演では、下野竜也氏の指揮でピアノに金子三勇士氏を迎えリストの「ピアノ協奏曲第1番」とマーラーの「交響曲第5番」を、名古屋公演では、常任指揮者広上淳一氏の指揮でホルンにラデク・バボラーク氏を迎え、リヒャルト・シュトラウスの「ホルン協奏曲第1番」と交響詩「ドン・ファン」及びショスタコーヴィチの「交響曲第5番」を、上演しました。

なお、平成23年度については、東日本大震災により被災された皆様の心の支援を図るため、ロームミュージックファンデーション様から助成をいただき、福島県福島市内（2/1福島テルサ・2/2桜の聖母学院）でチャリティーコンサートを実施しました。

(4) オーケストラ・ディスカバリー ―こどものためのオーケストラ入門―

平成23年度は、「オーケストラの世界！」をテーマに、常任指揮者の広上淳一氏をはじめ4人の指揮者がナビゲーターとともに、オーケストラで活躍する楽器や曲の聴きどころなどの紹介を交え、様々な名曲でクラシック音楽の素晴らしさをお届けしました（全4回）。

また、開演前にはロビーイベントを実施するなどプログラムの充実を図りました。

(5) みんなのコンサート

市民の文化芸術活動の拠点である文化会館を会場として音楽の旅をテーマに全6回開催しました。低料金で（前売り800円、当日1000円）、0歳児からシニアまで幅広くのお客様を対象に設定し、演奏内容もクラシックや映画音楽など初心者から愛好家まで十分楽しめる良質なものとするとともに、将来有望な若手指揮者や京都市立芸大の学生をソリストに起用し、若手音楽家の育成にも努めました。

(6) 京響友の会招待コンサートの開催

京響友の会スペシャルコンサート（7/16）を開催して、友の会の魅力を高めるとともに友の会の会員拡充に努めました。

なお、本公演につきましては、例年、会員様限定の招待コンサートとして開催しておりますが、平成23年度につきましては、会員様以外の方にもチケットを販売し、その

売上については、日本赤十字社を通じ東日本大震災被災者への義援金としました。

(7) その他

ア 楽器講習会，訪問演奏等

小・中・高校生をはじめとする市民の皆様に，楽器の実技指導を京響練習場他で6回開催しました。また，医療機関への訪問演奏や京都市が開催する行事等へも参加しました。

イ 京都市交響楽団練習風景公開事業

京都市交響楽団が身近な存在であることをアピールするため，毎月1回1時間，50名程度の見学者を募集し，練習風景を一般に公開しました。

ウ 京都市ジュニアオーケストラ，若手音楽家との連携

京都市ジュニアオーケストラの演奏指導を行い，京都市ジュニアオーケストラや若手音楽家（京都市立芸大・堀川音楽高校）とのコラボレーションによる演奏会（チャリティコンサート）を実施しました。

II 受託事業

京都市交響楽団の京都市内外での知名度アップはもちろん，学生（小・中・高校）を対象とした「音楽鑑賞教室」を通じて生のオーケストラの演奏を聴く機会を提供し，クラシック音楽の普及振興を図るとともに，より充実した自主事業を実施するための資金獲得を目的として，京都市外の小学生及び中学生のための音楽鑑賞教室やびわ湖ホール主催のオペラなどの49事業について企画及び開催業務を受託しました。

■ 施設の管理運営のための取組

I 広報・営業活動

(1) 広報活動

ア 広報・広告媒体の活用

(ア) 市関連広報媒体

・市政広報板 ・市民しんぶん ・GoGo 土曜塾 ・京都市老人クラブ連合会

(イ) 交通媒体

・地下鉄「北山駅」階段蹴込 ・J R「京都駅」東改札液晶サインボード
・地下鉄「北山駅」「烏丸御池駅」構内ポスター枠 ・市バス車内電照広告

(ウ) 地域情報誌等地元媒体

・KYOTO VISITOR'S GUIDE ・FM COCOLO「KYOTO CITY INFORMATION」
・歳時紀行 ・祇園祭うちわ

(エ) 新 聞

・京都新聞 ・朝日新聞 ・日本経済新聞

(オ) 音楽専門誌

・音楽の友 ・ぶらあぼ

イ 自主媒体による広報

(ア) 会報誌「コンサートガイド」の発行（毎月／17,000部）【コンサートホール】

(イ) 「催し物案内」の発行（毎月／8,000部）【京都会館】

(ウ) メルマガによる公演情報の発信（メルマガ会員8,516名）

(エ) ホームページの充実

ホームページの充実策として、文化会館の「パートナーシップ事業」の更新システムの導入や「パワーアップ支援事業」ページの新設をしました。

Ⅱ 集客のための取組

1 京都コンサートホール

(1) 会員制度

京都コンサートホールでは、多くの音楽ファンに支えられたホール運営を進めるとともに、クラシック音楽の聴衆拡大と財団自主事業をより多くの観客に親しんでいたため、「京都コンサートホール Club」、「スペシャルメンバーズ」、の2つの会員制度を設け、固定ファンの確保及び新規ファン拡大に取り組みました。

ア 「京都コンサートホール Club」会員制度の企画・運営

多くの皆様に「京都コンサートホールのファンになっていただく」ために、チケット優先予約や割引販売などの特典を付与した会員制度を設け運営しています。特典の1つとして、平成23年度も、平成22年度に引き続き、会員特別企画として、京都の秋音楽祭「開会記念コンサート」（9月17日）、京都市交響楽団第546回定期演奏会（5月20日）、第554回定期演奏会（2月18日）の3公演の公開リハーサル見学会を実施し、3公演で合計約150名の会員に参加いただきました。

（参 考）京都コンサートホール Club」会員数の推移

年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
会員数	916名	865名	2,072名	1,688名

イ 「スペシャルメンバーズ」制度の企画・運営

平成11年度から、海外オーケストラを中心に複数以上の公演を組合せ、料金の割引等の特典を付与した会員制度として運営しています。

（参考1）「スペシャルメンバーズ」会員数の推移と内訳

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
会員数	411名	347名	351名	412名
各セット	S279	S245	S271	S300
内 訳	A132	A102	A80	A112

（参考2）平成23年度対象公演

5月12日（木） プラハ放送交響楽団（※東日本大震災の影響により公演中止）
10月 2日（日） ローマ・サンタ・チェチーリア管弦楽団
11月23日（水・祝） パリ管弦楽団

(2) 割引制度

ア 「シニア制度※」の運営

昨今の高齢化社会に鑑みて、70歳以上の高齢者を対象に、ホールへの親近感の向上と観客の拡大、また、高齢者へのサービスの一環としてシニア割引（19公演）及びシニアシート（限定60席を割引販売、3公演）を実施しました。

※当日券が発売される場合、最低料金席を除く各席料金を半額にて販売。

イ 「スチューデント制度※」の運営

「大学のまち・京都」に相応しい取組として、次代を担う若い世代のクラシック音楽普及を図るため、学生を対象に、低料金で演奏会を鑑賞できる機会を提供しました。

※当日券が発売される場合、最低料金席を除く各席料金を半額にて販売。

ウ 「障がいのある方割引制度」の運営

障がいのある方にもコンサートホールに来館していただき、クラシック音楽を楽しんでいただけるよう、当財団主催事業について、障がいのある方及び同伴者1名の入場料割引を行う「障がいのある方割引制度」（10%割引）を実施しました。

(3) ウィークデーパッケージプランの運用

株式会社エフエム京都との共同により、財団がホール利用料金の一部負担し、株式会社エフエム京都がラジオでのスポット枠（空き枠）を利用してコマーシャルを流す、平日利用限定の「京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン」を引続き実施し、8事業を開催し、アンサンブルホールムラタの利用率向上に貢献しました。

(参 考) 平成23年度京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事業名	事業日	主催者
オペラ映画オテロ上映会	7月12日(火) アンサンブルホールムラタ	京都映画センター
法然上人 800 年大遠忌 さだまさしコンサート	9月1日(木) 大ホール	浄土宗
上妻宏光コンサート	10月14日(金) アンサンブルホールムラタ	京都音楽文化協会
河村尚子 ピアノコンサート	10月26日(水) アンサンブルホールムラタ	京都新音楽協会 ミューズ
黄原直美&林真紀子室内楽	10月31日(月) アンサンブルホールムラタ	ココミュージック オフィス
東京メトロポリタン・プラス クインテッド コンサート	2月21日(火) アンサンブルホールムラタ	クラシック名古屋
バッハ週間 in 京都 田中玲奈室内楽	3月23日(金) アンサンブルホールムラタ	エラート音楽事務所
バッハ週間 in 京都 シュテファン・パ ルム チェンバロコンサート	3月30日(金) アンサンブルホールムラタ	エラート音楽事務所

2 京都市交響楽団

(1) 会員制度

京都市交響楽団が、名実ともに一流のオーケストラとして飛躍するとともに、音楽を通じ相互の連携を強め、ひろく京都市民の音楽文化の向上を目指し、京都市交響楽団の創設とほぼ同時に京響の演奏会をプライベート・シートでお得にお楽しみいただき、会員限定のコンサートや様々な特典、楽員との交流を付与した「京響友の会」会員制度を設けています。

個人会員にあっては、通年会員はもちろんのこと、半年間の前期・後期会員や開演時間別の土日マチネ・平日ソワレ会員等の会員区分を設け、法人会員にあっては、平成21年4月、京都市交響楽団の運営が当財団に移管されたのを機に低額な法人会員区分を設け、新規ファンの獲得と固定ファンの確保に取り組んでいます。

平成23年度の実績は個人会員が926名、法人会員が85社でした。

(2) 割引制度

年11回開催している定期演奏会と、年末・年始に開催している特別演奏会を対象として、10枚以上ご購入のお客様に対し、10%の割引を実施しています。

また、定期演奏会及び特別演奏会において当日券が販売される場合、最低料金席を除く各席で学生券と休憩後のコンサート後半のみをお楽しみいただける後半券を特別割引価格で販売しております。

3 インターネットによる京都コンサートホール・京都市交響楽団自主事業チケット販売

平成21年度からインターネットでチケットを購入できるようにするとともにチケット購入の際に、会員登録をいただき、ご希望の会員様には定期的にウェブメールによる演奏会情報の配信（平成23年度実績：27回配信）を行うなど、チケット販売（平成23年度販売枚数：5,442枚）の促進を図りました。

(参 考) インターネット会員登録数

平成21年度	平成22年度	平成23年度	合 計
2,081名	3,594名	2,841名	8,516名

4 地域文化会館

(1) 地域文化会館割引制度

地域文化会館への利用料金制度導入に伴い、平日のホール利用促進と、追加利用に対するサービスの向上を図るため、新たな制度を設けました。

ア 平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ）京都会館（第1ホ

ール第2ホール)文化会館(ホール)のいずれかで、演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており、ホール本番利用日の2箇月前の日から本番までの平日利用に限り、ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は50%を割引く制度を設けました。

(参考)平成23年度 平日直前利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東部文化会館	2 件	市立中学吹奏楽部, バレエ教室
呉竹文化センター	1 件	バレエ教室
西文化会館ウエスティ	1 4 件	保育園, 舞台制作会社等
北文化会館	1 件	ピアノ教室
右京ふれあい文化会館	7 件	大学クラブ, バレエ教室等
計	2 5 件	

イ 平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に2区分以上連続して利用する場合は、利用料を15%割引く制度を設けました。

(参考)平成23年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会 館 名	受託件数	主 な 利 用 者
東部文化会館	1 8 件	市立中学吹奏楽部, バレエ教室, 市役所, 保育園等
呉竹文化センター	2 5 件	市立中学吹奏楽部, バレエ教室, 市役所, 保育園等
西文化会館ウエスティ	1 2 件	市立中学, 保健会, 保育園等
北文化会館	2 7 件	市役所, 大学クラブ, フラメンコスタジオ等
右京ふれあい文化会館	1 6 件	大学クラブ, バレエ教室, 市役所等
計	9 8 件	

(2) 地域文化会館受付時間の延長

地域文化会館の利用に伴う受付時間を、これまでの「午前9時から午後5時まで」から「午前9時から午後7時まで」に変更し、利用者の利用申請手続きの利便性の向上を図りました。

(3) 地域文化会館利用料金の振込による授受

利用料金の受領方法をこれまでの窓口現金受領から、銀行振込・郵便振替による授受を可能とし、利用者へのサービス向上を図りました。

Ⅲ 各種助成制度の活用および企業協賛

自主事業の実施にあたり、次の団体・企業から助成や協賛をいただきました。

(参 考) 各種助成団体および協賛企業

助成団体	文化庁（優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業） 独立行政法人日本芸術文化振興会 公益財団法人ロームミュージックファンデーション 社団法人日本オーケストラ連盟 財団法人アフィニス文化財団 北区社会福祉協議会
協賛企業（1万円以上） （順不同）	オムロン株式会社 ローム株式会社 株式会社ゼロ・コーポレーション 関西電力株式会社京都支店 京都洛東ライオンズクラブ 京都醍醐ライオンズクラブ 株式会社 K.GE REEDS JAPAN 福田金属箔粉工業株式会社 株式会社日農 アイコ・シーマンバレエスタジオ 加藤山科病院 沖潮バレエアート 京都シティ開発株式会社 京都橘大学 小野幼稚園 岩屋神社 岩屋保育園 武田病院 清水焼団地協同組合 柳辻病院 すみれ幼稚園

IV サービス向上の取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成21年度に全施設に設置したCS（顧客満足度向上）会議を、引続き開催し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上の検討を行いました。

財団職員だけでなく施設で働く全部門の従事者の代表が出席し、利用者ニーズの把握、要望の検証、苦情への対処方法等を協議し、顧客の満足度の向上に向けたホスピタリティ（おもてなしの心の醸成）への追求に努めました。

(2) アンケート調査の実施及びお客様ご意見箱の設置

京都コンサートホール、京都会館及び地域文化会館の施設利用者及び来館者に対して、職員の受付対応についてのアンケート調査を実施し、大変満足（5点）から大変不満（1点）の5段階で評価していただきました。（845件回収）

(参 考) アンケート調査の結果

ホール・会館名	京都コンサートホール	京都会館	東部文化会館	呉竹文化センター	西文化会館ウエスティ	北文化会館	右京ふれあい文化会館
対応の仕方	4. 2 9	4. 4 0	4. 1 0	4. 2 0	4. 1 5	4. 3 2	4. 1 5
身だしなみ	4. 3 0	4. 4 0	4. 0 0	4. 0 0	4. 1 4	4. 3 2	4. 0 5
態度	4. 2 7	4. 4 0	4. 1 0	4. 2 0	4. 1 7	4. 3 2	4. 0 9
説明の仕方	4. 2 5	4. 4 0	4. 1 0	4. 2 0	4. 1 7	4. 3 2	4. 1 8
窓口の印象	4. 2 3	4. 3 0	4. 0 0	4. 1 0	4. 2 1	4. 2 2	4. 0 5
会館内の清潔さ	4. 2 7	4. 2 0	4. 0 0	4. 1 0	4. 2 4	4. 2 2	4. 1 8

利用者や来館者からは、上記のとおりすべての項目において良好な評価をいただきましたが、常に利用者の目線に立ち改善を図るべく、今後も利用者からのアンケート調査を行い、今後のサービス向上の具体的な取組に活かします。

(3) ホームページの充実

広報ツールとしても重要な役割をなすホームページの充実策として、平成23年度は文化会館のトップページにて事業の案内を閲覧できるシステムの導入や、施設の空き情報をこれまで以上に見やすくするなど、利用者へのサービス向上を図りました。

また、京都市交響楽団のページにつきましても、これまで以上にきめ細やかな情報発信に努めました。

(参 考) ホームページ月平均アクセス件数

単位：件数

会 館 名	平成 22 年度	平成 23 年度	23 年度－22 年度
京都コンサートホール	2 3, 5 5 5	1 9, 7 7 0	△ 3, 7 8 5
京都会館	2 2, 5 5 2	1 6, 4 4 9	△ 6, 1 0 3
東部文化会館	3, 0 1 0	2, 7 3 3	△ 2 7 7
呉竹文化センター	3, 5 8 9	3, 4 7 0	△ 1 1 9
西文化会館ウエスティ	2, 7 9 8	2, 5 3 6	△ 2 6 2
北文化会館	3, 6 2 5	3, 1 9 0	△ 4 3 5
右京ふれあい文化会館	3, 3 1 2	3, 1 3 5	△ 1 7 7
京都市交響楽団	2 9, 4 9 3	3 3, 8 4 1	4, 3 4 8

V 環境改善活動の取組

環境モデル都市である京都市の外郭団体として、平成 2 0 年 2 月に認証取得した K E S ステップ 1 について、平成 2 4 年 2 月に継続認証を取得しました。

また、平成 2 3 年 1 1 月に開催されました「世界の京都・まちの美化市民総行動」のメイン事業である京都市内の美化活動に当財団職員も多数参加し、地球環境にやさしいまちづくりに貢献しました。

VI 危機管理・安全対策の取組

各施設において消防訓練の実施や、エレベーター閉じ込め救出訓練、防犯講習、介護研修など、様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより、当財団職員の緊急時における対応・知識力を向上させ、不測の事態にも冷静に対応出来るように備えました。

VII 情報の収集

財団の内外から意見を求めたり情報収集することで、コンサートホール運営の参考とし活用しました。

(1) 公立文化施設協議会

公立文化施設を構成員とする、全国公立文化施設協会、近畿地区公立文化施設協議会、京都府公立文化施設協議会にコンサートホール及び京都会館が加盟し、事業に参画しました。

平成 2 3 年度も、コンサートホールが近畿地区公立文化施設協議会の業務管理委員長、京都府公立文化施設協議会の副会長として、積極的に協議会の運営に貢献しました。

(2) 企画運営委員会（全 8 回）

専門委員による常設の企画運営委員会を開催し、活力あるホール運営を目指して、委員から幅広い提言・助言をいただきました。

(3) コンサートホール企画連絡会議等への参加

運営環境が類似する国内主要ホールを構成員とするコンサートホール企画連絡会議（会場：夏（事業） 京都コンサートホール／冬（広報） すみだトリフォニー／秋（臨時） 札幌コンサートホールKitara）に参画しました。

夏の会議では、京都コンサートホールが主催となり事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報や意見の交換を行いました。

■ 組織運営のための取組

I 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者に一層喜んでいただくとともに、市民の文化芸術活動を適切に支援し、さらに当財団が文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう分野別研修を実施しました。

接遇・応対研修については、毎年、研修を実施し、職員の接遇・応対マナーの向上に取組みました。

また、財団のコーディネート機能の向上を目的とし、コーディネイターを対象に研修を実施しました。

(参 考) 平成23年度 研修内容

研修名	コーディネイター研修	接遇マナーブラッシュアップ研修
実施日	平成24年1月17日	平成24年 2月 7日 2月14日
受講人数	19名	75名
研修内容	研修 「コーディネイターの役割と仕事」 講師 財団法人地域創造「公共ホール 音楽活性化事業」コーディネイター 楠瀬 寿賀子 氏	研修 「接遇マナーブラッシュアップ研修」 講師 株式会社センチュリー アンドカンパニー 柳井 尚美 氏
会 場	北文化会館	北文化会館

II 公益法人制度改革への対応

平成20年12月1日の公益法人関連法の施行に伴い、平成21年7月に公益財団法人移行検討委員会を設置し、平成23年3月までに6回の委員会を開催し、公益財団法人移行に向け必要な事項を審議しました。

その後、京都府に移行認定申請書を提出し、平成23年11月30日の第14回京都府公益認定等審議会において審議され、認定基準に適合する旨の答申がされました。

また、平成24年3月21日付で京都府から公益財団法人移行認定書の交付を受け、4月1日に公益財団法人の設立登記を行いました。

III 中期経営計画における重点課題の推進

これまでの「財団運営基本計画」及び「アクションプラン」の後継計画として平成23年5月に策定した「中期経営計画」において、指定管理期間で達成すべき経営目標を具体的な数値、指標等で設定し、その実現のための取組を実施してまいりました。

IV 組織・職員

(1) 組織改正

平成23年度は、管理部（総務課，事業課，京都会館，5つの文化会館）及び京都市交響楽団の組織体制となりました。

また，指定管理者として2期目を迎え，文化会館が地域の文化芸術活動の拠点となることを目指して，コーディネイターを5つの文化会館に配置しました。さらに，文化会館と京都コンサートホール及び京都会館の連携を一層強化するため，事業課にチーフコーディネイターを配置しました。

(2) 組織運営

次期指定管理業務の選定に備え，組織整備に加え，以下の会議開催により連絡体制の確立，情報の迅速な共有化等を図り円滑な財団運営に努めました。

ア 専務理事，事務局長，シニアマネージャー，総務課，事業課の各課長，京都会館及び文化会館の各館長を構成員とする所属長会を開催（12回開催）

イ 事務局長，事業課長，チーフコーディネイター，企画事業係長，京都会館管理係長及び文化会館のコーディネイターを構成員とするコーディネイター会議を開催（12回開催）

ウ コン서트ホール課長，チーフコーディネイター，コンサートホール管理係長，各課の管理担当者を構成員とする管理担当者会議を開催（12回開催）

これらの諸会議を通じ，京都コンサートホール，京都会館，各文化会館及び京響の管理運営に係る事項について情報を共有し，貸館業務，施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた自主事業の展開等について検討しました。

(3) 人事異動

平成23年4月1日付けで総数19名の人事異動を行いました。

管理部においては，3月31日付け退職者の後任を補充するとともに，新規採用嘱託職員4名を含め，適性に応じた人事配置を行いました。

また，事業課にチーフコーディネイターを配置する等の充実を図りました。

(参 考 1) 財団職員数の推移

※各年度すべて4月1日現在の人数とする

年・月・日	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
固 有 職 員	37名	37名	35名	35名
嘱 託 職 員	28名	23名	25名	26名
市からの出向職員	2名	7名	6名	6名
市派遣嘱託職員	—	89名	85名	85名
計	67名	156名	151名	152名

(参 考 2) 財団役職別職員数の推移

年・月・日	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事 務 局 長	1名	1名	1名	1名
部 長 級	—	2名	2名	2名
課 長 級	11名	12名	10名	11名
係 長 級	16名	17名	14名	15名
主 任	4名	8名	11名	11名
職 員	35名	29名	29名	28名
音楽スタッフ	—	5名	5名	5名
楽 団 員	—	82名	79名	79名
計	67名	156名	151名	152名

V 庶務報告

(1) 役員会の開催

① 第1回理事会・評議員会

平成23年5月31日

- ＜議案＞
- ・平成22年度事業報告
 - ・平成22年度収支補正予算
 - ・平成22年度収支決算
 - ・「中期経営計画」について
 - ・諸規程の制定及び改正について
 - ・顧問の推薦について
 - ・評議員の選任について
 - ・専門委員会委員の選任について
 - ・理事及び監事の選任について

② 第2回理事会・評議員会

平成23年11月25日

- ＜議案＞
- ・平成24年度事業計画
 - ・顧問の推薦について
 - ・評議員の選任について

- ・理事の選任
- ・平成22年度決算書の一部修正について
- ・公益財団法人移行の取組

③ 第3回理事会・評議員会

平成24年 3月26日

<議案>

- ・平成24年度事業計画
- ・平成24年度収支予算
- ・諸規程の制定について
- ・公益財団法人移行認定について
- ・公益財団法人移行後の専門委員の選任について

(2) 役員の異動

① 第1回評議員会の承認による

ア 理事・監事就任

氏 名	役 職 (承認日現在)	異動日
理事 建畠 哲	京都市立芸術大学長	平成23年6月1日
平竹 耕三	京都市文化市民局文化芸術担当局長	同 上
監事 西居 智司	京都市会計室長	同 上

イ 理事辞任

氏 名	役 職 (承認日現在)	異動日
理事 山岸 吉和	前京都市文化市民局長	平成23年5月31日
監事 津田 洋子	前京都市会計室長	同 上

② 第1回理事会の承認による

ア 顧問就任

氏 名	役 職 (承認日現在)	異動日
小林 正明	京都市会議長	平成23年6月1日

イ 顧問辞任

氏 名	役 職 (承認日現在)	異動日
加藤 盛司	前京都市会議長	平成23年5月31日

ウ 評議員就任

氏 名	役 職 (承認日現在)	異動日
内山 修	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	平成23年6月1日

エ 評議員辞任

氏 名	役 職（承認日現在）	異動日
平竹 耕三	前京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	平成 23 年 5 月 31 日

③ 第 2 回評議員会の承認による

ア 理事就任

氏 名	役 職（承認日現在）	異動日
井上 利丸	NHK 京都放送局長	平成 23 年 11 月 26 日

イ 理事辞任

氏 名	役 職（承認日現在）	異動日
小林 千洋	前NHK 京都放送局長	平成 23 年 11 月 25 日

④ 第 2 回理事会の承認による

ア 顧問就任

氏 名	役 職（承認日現在）	異動日
井上 与一郎	京都市会議長	平成 23 年 11 月 26 日

イ 顧問辞任

氏 名	役 職（承認日現在）	異動日
小林 正明	前京都市会議長	平成 23 年 11 月 25 日

ウ 評議員就任

氏 名	役 職（承認日現在）	異動日
田島 徹	NHK 京都放送局放送部長	平成 23 年 11 月 26 日
吉尾 隆行	㈱京都新聞社営業統括本部地域貢献センター長	同 上

エ 評議員辞任

氏 名	役 職（承認日現在）	異動日
國友 充範	前NHK 京都放送局放送部長	平成 23 年 11 月 25 日
上田 耕滋	前㈱京都新聞社営業統括本部地域貢献センター長	同 上

(3) 登記事項

① 第1回理事会・評議員会による理事の変更

氏 名	登 記 日
建 畠 哲	平成23年7月1日
平 竹 耕 三	同 上

② 第2回理事会・評議員会による理事の変更

氏 名	登 記 日
井 上 利 丸	平成23年12月20日

『収益事業』

1 公益目的外の施設提供事業

(1) 駐車場経営

指定管理業務として主に来館者向け駐車場として運営いたしました。

(参 考)

施 設	駐車場収入	台 数
京都コンサートホール	21,849,500円	100台
西文化会館ウエスティ	3,655,900円	53台
右京ふれあい文化会館	4,447,300円	67台

(2) 京都コンサートホール グッズ販売

京都コンサートホールオリジナルグッズ（9種類）や音楽に関連したグッズ（約30種類）を販売しています。

(参 考)

項 目	収 入 額
京都コンサートホールグッズ収入	819,498円
プログラム等販売収入	451,900円

(3) プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売しました。

(参 考) 入場券販売業務受託状況

会 館 名	受 託 件 数	収 入 金 額
京都コンサートホール	170件	6,537,000円
京都会館	70件	1,437,567円
東部文化会館	5件	30,800円
呉竹文化センター	8件	55,670円
西文化会館ウエスティ	6件	23,870円
北文化会館	8件	25,240円
右京ふれあい文化会館	4件	32,950円
計	271件	8,143,097円

(4) 自動販売機の管理運営

京都コンサートホール、京都会館、呉竹文化センター及び右京ふれあい文化会館に設置された自動販売機の管理運営を行っています。

(参 考)

会 館 名	収 入 金 額
京都コンサートホール	2 1 0, 0 6 9 円
京都会館	9 1 0, 8 8 7 円
呉竹文化センター	1 7 6, 4 2 3 円
右京ふれあい文化会館	3 5 0, 5 7 7 円
計	1, 6 4 7, 9 5 6 円

平成23年度

収 支 補 正 予 算

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

平成23年度 収支補正予算総括表

(単位：千円)

科 目	合 計	一般会計	京響運営特別会計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	1,300	1,300	0
特定資産運用収入	3,500	3,500	0
事業収入	1,590,374	1,288,443	301,931
補助金等収入	649,492	0	649,492
雑収入	4,044	3,912	132
事業活動収入合計 A	2,248,710	1,297,155	951,555
2. 事業活動支出			
事業費支出	486,574	270,477	216,097
管理費支出	1,752,430	1,050,878	701,552
事業活動支出合計 B	2,239,004	1,321,355	917,649
事業活動収支差額 C = A - B	9,706	△ 24,200	33,906
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	185,400	185,400	0
投資活動収入合計 D	185,400	185,400	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	173,400	148,200	25,200
固定資産取得支出	11,706	3,000	8,706
投資活動支出合計 E	185,106	151,200	33,906
投資活動収支差額 F = D - E	294	34,200	△ 33,906
III 予備費支出 G	10,000	10,000	0
当期収支差額 H = C + F + G	0	0	0
前期繰越収支差額 I	0	0	0
次期繰越収支差額 H + I	0	0	0

平成 2 3 年度 収支補正予算総括表

【一般会計】

(単位：千円)

科 目	予算現額	補正予算額	補正後の金額
I 事業活動収支の部			
2. 事業活動支出			
②管理費支出			
管理費支出			
給料手当支出	356,000	△ 12,000	344,000
管理費支出合計	1,062,878	△ 12,000	1,050,878
管理費支出合計	1,062,878	△ 12,000	1,050,878
事業活動支出合計	1,333,355	△ 12,000	1,321,355
事業活動収支差額	△ 36,200	12,000	△ 24,200
II 投資活動収支の部			
2. 投資活動支出			
①特定資産取得支出			
特定資産取得支出			
管理運営引当資産取得支出	94,200	5,000	99,200
退職給付引当資産取得支出	42,000	7,000	49,000
特定資産取得支出合計	136,200	12,000	148,200
特定資産取得支出合計			
投資活動支出合計	139,200	12,000	151,200
投資活動収支差額	46,200	△ 12,000	34,200
当期収支差額	0	0	0

【京響運営特別会計】

(単位：千円)

科 目	予算現額	補正予算額	補正後の金額
I 事業活動収支の部			
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
自主・共催事業費支出			
委託費支出	74,008	△ 7,243	66,765
自主・共催事業費支出合計	149,810	△ 7,243	142,567
受託事業費支出			
旅費交通費支出	20,901	△ 8,024	12,877
通信運搬費支出	7,091	△ 3,163	3,928
賃借料支出	6,230	△ 1,547	4,683
受託事業費支出合計	86,264	△ 12,734	73,530
事業費支出合計	236,074	△ 19,977	216,097
②管理費支出			
管理費支出			
給料手当支出	544,420	△ 10,929	533,491
管理費支出合計	712,481	△ 10,929	701,552
管理費支出合計	712,481	△ 10,929	701,552
事業活動支出合計	948,555	△ 30,906	917,649
事業活動収支差額	3,000	30,906	33,906
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動支出			
①特定資産取得支出			
特定資産取得支出			
記念事業引当資産取得支出	1,500	23,700	25,200
特定資産取得支出合計	1,500	23,700	25,200
特定資産取得支出合計	1,500	23,700	25,200
②固定資産取得支出			
固定資産取得支出			
什器備品購入支出	1,500	7,206	8,706
固定資産取得支出合計	1,500	7,206	8,706
固定資産取得支出合計	1,500	7,206	8,706
投資活動支出合計	3,000	30,906	33,906
投資活動収支差額	△ 3,000	△ 30,906	△ 33,906
当期収支差額	0	0	0

平成23年度

決 算 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸借対照表総括表

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	合計	一般会計	京響運営特別会計
I 資産の部			
1. 流動資産	384,094,799	238,648,089	145,446,710
2. 固定資産	858,515,029	776,073,059	82,441,970
資産合計	1,242,609,828	1,014,721,148	227,888,680
II 負債の部			
1. 流動負債	352,897,636	216,534,754	136,362,882
2. 固定負債	214,572,367	214,572,367	0
負債合計	567,470,003	431,107,121	136,362,882
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	55,000,000	55,000,000	0
2. 一般正味財産	620,139,825	528,614,027	91,525,798
正味財産合計	675,139,825	583,614,027	91,525,798
負債及び正味財産合計	1,242,609,828	1,014,721,148	227,888,680

貸 借 対 照 表

平成24年3月31日現在

【一般会計】

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	167,286,909	188,330,254	△ 21,043,345
未収金	67,759,672	69,509,289	△ 1,749,617
貯蔵品	3,240,437	2,956,371	284,066
立替金	361,071	2,097,290	△ 1,736,219
仮払金	0	569,599	△ 569,599
流動資産合計	238,648,089	263,462,803	△ 24,814,714
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
京都市債	83,000,000	83,000,000	0
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
(2) 特定資産			
記念事業引当資産	86,186,000	86,186,000	0
管理運営引当資産	369,305,805	297,500,000	71,805,805
退職給付引当資産	214,572,367	268,556,000	△ 53,983,633
特定資産合計	670,064,172	652,242,000	17,822,172
(3) その他固定資産			
什器備品	2,694,517	4,181,317	△ 1,486,800
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	3,008,887	4,495,687	△ 1,486,800
固定資産合計	776,073,059	759,737,687	16,335,372
資産合計	1,014,721,148	1,023,200,490	△ 8,479,342
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	102,164,965	107,612,465	△ 5,447,500
前受金	59,915,970	43,609,700	16,306,270
預り金	54,452,819	70,765,412	△ 16,312,593
仮受金	1,000	19,673,250	△ 19,672,250
流動負債合計	216,534,754	241,660,827	△ 25,126,073
2. 固定負債			
退職給付引当金	214,572,367	268,556,000	△ 53,983,633
固定負債合計	214,572,367	268,556,000	△ 53,983,633
負債合計	431,107,121	510,216,827	△ 79,109,706
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	55,000,000	55,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	528,614,027	457,983,663	70,630,364
	(48,000,000)	(48,000,000)	0
正味財産合計	583,614,027	512,983,663	70,630,364
負債及び正味財産合計	1,014,721,148	1,023,200,490	△ 8,479,342

貸借対照表

平成24年3月31日現在

【京響運営特別会計】

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	106,275,963	117,988,365	△ 11,712,402
未収金	37,444,829	52,089,421	△ 14,644,592
貯蔵品	1,725,918	1,224,571	501,347
流動資産合計	145,446,710	171,302,357	△ 25,855,647
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
記念事業引当資産	72,000,000	46,800,000	25,200,000
特定資産合計	72,000,000	46,800,000	25,200,000
(2) その他固定資産			
什器備品	10,441,970	14,119,891	△ 3,677,921
その他固定資産合計	10,441,970	14,119,891	△ 3,677,921
固定資産合計	82,441,970	60,919,891	21,522,079
資産合計	227,888,680	232,222,248	△ 4,333,568
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	101,939,191	126,664,893	△ 24,725,702
前受金	31,429,300	32,992,650	△ 1,563,350
預り金	2,972,391	3,116,489	△ 144,098
仮受金	22,000	198,700	△ 176,700
流動負債合計	136,362,882	162,972,732	△ 26,609,850
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	136,362,882	162,972,732	△ 26,609,850
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	91,525,798	69,249,516	22,276,282
	0	0	0
正味財産合計	91,525,798	69,249,516	22,276,282
負債及び正味財産合計	227,888,680	232,222,248	△ 4,333,568

正味財産増減計算書総括表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	京響運営特別会計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	1,242,162	1,242,162	0
② 特定資産運用益	3,625,403	3,625,403	0
③ 事業収益	1,592,938,515	1,265,287,324	327,651,191
④ 受取補助金等	623,662,067	0	623,662,067
⑤ 雑収益	4,241,113	3,777,585	463,528
経常収益合計	2,225,709,260	1,273,932,474	951,776,786
(2) 経常費用			
① 事業費	432,882,009	217,297,233	215,584,776
② 付帯事業費	0	0	0
③ 管理費	1,794,066,410	1,080,150,682	713,915,728
経常費用合計	2,226,948,419	1,297,447,915	929,500,504
当期経常増減額	△ 1,239,159	△ 23,515,441	22,276,282
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 引当金戻入益	94,145,805	94,145,805	0
経常外収益計	94,145,805	94,145,805	0
(2) 経常外費用			
① 引当金繰入額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	94,145,805	94,145,805	0
当期一般正味財産増減額	92,906,646	70,630,364	22,276,282
一般正味財産期首残高	527,233,179	457,983,663	69,249,516
一般正味財産期末残高	620,139,825	528,614,027	91,525,798
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0
指定正味財産期末残高	55,000,000	55,000,000	0
III 正味財産期末残高	675,139,825	583,614,027	91,525,798

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

【一般会計】

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
1 基本財産運用益			
基本財産受取利息等	1,242,162	1,245,369	△ 3,207
基本財産運用益計	1,242,162	1,245,369	△ 3,207
基本財産運用益計	1,242,162	1,245,369	△ 3,207
② 特定資産運用益			
1 特定資産運用益			
特定資産受取利息等	3,625,403	3,838,732	△ 213,329
特定資産運用益計	3,625,403	3,838,732	△ 213,329
特定資産運用益計	3,625,403	3,838,732	△ 213,329
③ 事業収益			
1 自主・共催事業収益			
入場料収益	64,839,835	53,192,218	11,647,617
参加料収益	3,580,420	5,038,600	△ 1,458,180
スペシャルメンバーズ会費	14,048,000	13,480,000	568,000
友の会会費	1,688,000	2,072,000	△ 384,000
広告料収益	17,522,100	12,254,000	5,268,100
共催事業収益	26,221,162	38,871,206	△ 12,650,044
助成金収益	15,201,000	9,078,101	6,122,899
物品販売等収益	2,476,012	3,079,576	△ 603,564
自主・共催事業収益計	145,576,529	137,065,701	8,510,828
2 事業受託収益			
事業受託収益	47,516,216	35,397,011	12,119,205
事業受託収益計	47,516,216	35,397,011	12,119,205
3 管理受託収益			
管理受託収益	677,327,000	784,300,000	△ 106,973,000
管理受託収益計	677,327,000	784,300,000	△ 106,973,000
4 利用料収益			
ホール利用料金収益	348,005,390	180,751,440	167,253,950
駐車場利用料金収益	29,952,700	23,910,950	6,041,750
利用料収益計	377,958,090	204,662,390	173,295,700
5 その他付帯事業収益			
企画・演出手数料等収益	9,968,612	0	9,968,612
プレイガイド事務手数料収益	6,940,877	0	6,940,877
その他付帯事業収益計	16,909,489	0	16,909,489
事業収益計	1,265,287,324	1,161,425,102	103,862,222
④ 付帯事業収益			
1 人件費収益			
プラン・チーフ料収益	0	2,270,100	△ 2,270,100
臨時人件費収益	0	35,175	△ 35,175
人件費収益計	0	2,305,275	△ 2,305,275
2 事務手数料収益			
外注事務手数料収益	0	466,634	△ 466,634
プレイガイド事務手数料収益	0	12,295,045	△ 12,295,045
事務手数料収益計	0	12,761,679	△ 12,761,679
3 その他付帯事業収益			
照明材料売上貸付収益	0	6,770,073	△ 6,770,073
その他付帯事業収益計	0	6,770,073	△ 6,770,073
付帯事業収益計	0	21,837,027	△ 21,837,027

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
⑤雑収益			
1 雑収益			
受取利息等	1,271	1,263	8
管理手数料等	3,691,505	0	3,691,505
雑収益	84,809	4,447,955	△ 4,363,146
雑収益計	3,777,585	4,449,218	△ 671,633
雑収益計	3,777,585	4,449,218	△ 671,633
経常収益合計	1,273,932,474	1,192,795,448	81,137,026
(2) 経常費用			
① 事業費			
1 自主・共催事業費			
臨時雇賃金	347,694	399,668	△ 51,974
旅費交通費	834,990	928,540	△ 93,550
通信運搬費	1,612,257	2,185,203	△ 572,946
消耗品費	1,005,134	738,040	267,094
印刷製本費	15,165,322	13,616,781	1,548,541
広告宣伝費	9,190,067	13,023,240	△ 3,833,173
賃借料	52,104,240	32,451,585	19,652,655
保険料	188,052	165,026	23,026
租税公課	59,200	84,100	△ 24,900
支払負担金	48,000	27,500	20,500
スペシャルメンバーズチケット購入額	14,048,000	13,480,000	568,000
チケット購入額	0	226,800	△ 226,800
支払助成金	2,352,500	2,077,650	274,850
委託費	101,017,608	77,027,041	23,990,567
支払手数料等	1,033,151	0	1,033,151
雑費	55,829	1,659,861	△ 1,604,032
自主・共催事業費計	199,062,044	158,091,035	40,971,009
2 受託事業費			
臨時雇賃金	131,952	0	131,952
旅費交通費	111,270	118,390	△ 7,120
通信運搬費	296,622	36,099	260,523
消耗品費	451,659	98,759	352,900
印刷製本費	94,500	595,650	△ 501,150
賃借料	3,059,054	291,769	2,767,285
保険料	10,682	28,567	△ 17,885
租税公課	40,800	31,000	9,800
委託費	14,030,670	9,673,178	4,357,492
支払手数料等	7,980	0	7,980
雑費	0	4,620	△ 4,620
受託事業費計	18,235,189	10,878,032	7,357,157
事業費計	217,297,233	168,969,067	48,328,166
② 付帯事業費			
1 期首照明材料等			
期首照明材料等	0	2,806,041	△ 2,806,041
期首棚卸高計	0	2,806,041	△ 2,806,041
2 付帯事業費			
照明材料等購入費	0	331,274	△ 331,274
付帯事業費計	0	331,274	△ 331,274
3 期末照明材料等			
照明材料等		△ 2,767,102	2,767,102
期末棚卸高計	0	△ 2,767,102	2,767,102
付帯事業費計	0	370,213	△ 370,213

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
③管理費			
1 管理費			
役員報酬	6,866,284	6,216,815	649,469
給料手当	338,733,348	327,007,507	11,725,841
退職給付費用	54,102,013	32,645,000	21,457,013
臨時雇賃金	19,133,054	7,239,089	11,893,965
福利厚生費	60,510,765	60,792,269	△ 281,504
会議費	417,747	398,196	19,551
旅費交通費	1,711,850	771,650	940,200
通信運搬費	4,295,218	4,809,226	△ 514,008
減価償却費	3,475,794	4,655,465	△ 1,179,671
消耗什器備品費	1,137,579	3,106,292	△ 1,968,713
消耗品費	13,488,516	15,650,947	△ 2,162,431
修繕費	46,253,418	40,854,837	5,398,581
印刷製本費	3,746,892	4,469,222	△ 722,330
広告宣伝費	860,500	850,500	10,000
燃料費	0	22,659	△ 22,659
光熱水費	157,578,658	173,620,202	△ 16,041,544
賃借料	1,730,604	2,664,600	△ 933,996
保険料	547,470	547,420	50
諸謝金	2,705,939	3,308,863	△ 602,924
租税公課	39,276,962	26,199,220	13,077,742
支払負担金	11,647,395	875,797	10,771,598
共同管理費	0	10,710,000	△ 10,710,000
委託費	310,745,603	359,838,765	△ 49,093,162
接遇交際費	23,910	6,424	17,486
支払手数料等	1,157,488	0	1,157,488
雑費	3,675	1,946,322	△ 1,942,647
管理費計	1,080,150,682	1,089,207,287	△ 9,056,605
管理費計	1,080,150,682	1,089,207,287	△ 9,056,605
経常費用合計	1,297,447,915	1,258,546,567	38,901,348
当期経常増減額	△ 23,515,441	△ 65,751,119	42,235,678
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 引当金戻入益			
1 引当金戻入益			
記念事業引当金戻入益	0	106,150,000	△ 106,150,000
管理運営引当金戻入益	0	340,000,000	△ 340,000,000
退職給付引当金等戻入益	94,145,805	0	94,145,805
引当金戻入益計	94,145,805	446,150,000	△ 352,004,195
引当金戻入益	94,145,805	446,150,000	△ 352,004,195
経常外収益計	94,145,805	446,150,000	△ 352,004,195
(2) 経常外費用			
① 引当金繰入額			
1 引当金繰入額	0	0	0
引当金繰入額計	0	0	0
引当金繰入額計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	94,145,805	446,150,000	△ 352,004,195
当期一般正味財産増減額	70,630,364	380,398,881	△ 309,768,517
一般正味財産期首残高	457,983,663	77,584,782	380,398,881
一般正味財産期末残高	528,614,027	457,983,663	70,630,364
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0
指定正味財産期末残高	55,000,000	55,000,000	0
III 正味財産期末残高	583,614,027	512,983,663	70,630,364

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

【京響運営特別会計】

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益			
1 自主・共催事業収益			
入場料収益	47,385,350	52,689,100	△ 5,303,750
友の会会費	43,724,500	41,186,500	2,538,000
広告収益	3,040,000	3,040,000	0
受託・共催事業収益	14,184,133	25,309,908	△ 11,125,775
助成金収益	76,330,000	69,919,426	6,410,574
物品販売等収益	2,071,854	2,396,731	△ 324,877
自主・共催事業収益計	186,735,837	194,541,665	△ 7,805,828
2 事業受託収益			
事業受託収益	140,915,354	152,228,798	△ 11,313,444
事業受託収益計	140,915,354	152,228,798	△ 11,313,444
事業収益計	327,651,191	346,770,463	△ 19,119,272
② 受取補助金等			
1 地方公共団体補助金			
京都市補助金	623,662,067	618,848,313	4,813,754
地方公共団体補助金計	623,662,067	618,848,313	4,813,754
受取補助金等計	623,662,067	618,848,313	4,813,754
③ 雑収益			
1 雑収益			
受取利息等	0	3,547	△ 3,547
管理手数料等	111,020	0	111,020
雑収益	352,508	813,953	△ 461,445
雑収益計	463,528	817,500	△ 353,972
雑収益計	463,528	817,500	△ 353,972
経常収益合計	951,776,786	966,436,276	△ 14,659,490
(2) 経常費用			
① 事業費			
1 自主・共催事業費			
臨時雇賃金	1,222,006	925,096	296,910
旅費交通費	7,129,505	4,157,036	2,972,469
通信運搬費	4,988,709	5,054,420	△ 65,711
消耗品費	1,969,957	841,302	1,128,655
商品費	1,902,586	2,208,601	△ 306,015
見本費	10,660	145,567	△ 134,907
印刷製本費	10,488,075	10,498,913	△ 10,838
広告宣伝費	16,180,833	14,726,982	1,453,851
賃借料	28,362,902	33,864,723	△ 5,501,821
諸謝金	628,320	517,212	111,108
租税公課	27,600	28,000	△ 400
委託費	66,764,412	77,930,531	△ 11,166,119
支払手数料等	1,000,838	0	1,000,838
雑費	1,383,441	1,750,491	△ 367,050
自主・共催事業費計	142,059,844	152,648,874	△ 10,589,030
2 受託事業費			
臨時雇賃金	1,487,409	1,208,033	279,376
旅費交通費	12,876,130	15,580,730	△ 2,704,600
通信運搬費	3,927,140	4,280,528	△ 353,388
消耗品費	407,376	62,044	345,332
印刷製本費	0	152,932	△ 152,932
広告宣伝費	0	115,500	△ 115,500
賃借料	4,682,539	4,166,666	515,873
諸謝金	20,000	5,555	14,445
租税公課	116,600	108,400	8,200

正味財産増減計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
委託費	49,779,910	48,732,004	1,047,906
支払手数料等	140,628	0	140,628
雑費	87,200	433,269	△ 346,069
受託事業費計	73,524,932	74,845,661	△ 1,320,729
事業費計	215,584,776	227,494,535	△ 11,909,759
②管理費			
1 管理費			
給料手当	533,478,919	534,440,879	△ 961,960
臨時雇賃金	1,836,309	801,560	1,034,749
福利厚生費	75,336,175	67,035,520	8,300,655
旅費交通費	721,580	728,245	△ 6,665
通信運搬費	1,378,363	1,225,160	153,203
減価償却費	7,949,601	12,820,905	△ 4,871,304
消耗什器備品費	1,754,550	1,462,327	292,223
消耗品費	10,022,561	7,577,537	2,445,024
修繕費	5,732,361	2,122,160	3,610,201
印刷製本費	787,395	767,865	19,530
広告宣伝費	2,187,948	2,906,311	△ 718,363
光熱水費	4,330,282	4,770,647	△ 440,365
賃借料	17,197,895	17,058,454	139,441
保険料	1,388,480	1,348,120	40,360
租税公課	15,082,600	9,891,000	5,191,600
支払負担金	814,000	782,000	32,000
委託費	28,323,886	33,253,688	△ 4,929,802
接遇交際費	21,828	37,970	△ 16,142
支払手数料等	339,630	0	339,630
雑費	5,231,365	1,223,982	4,007,383
管理費計	713,915,728	700,254,330	13,661,398
管理費計	713,915,728	700,254,330	13,661,398
経常費用合計	929,500,504	927,748,865	1,751,639
当期経常増減額	22,276,282	38,687,411	△ 16,411,129
当期一般正味財産増減額	22,276,282	38,687,411	△ 16,411,129
一般正味財産期首残高	69,249,516	30,562,105	38,687,411
一般正味財産期末残高	91,525,798	69,249,516	22,276,282
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	91,525,798	69,249,516	22,276,282

財産目録総括表

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	13,724,776		
現金	5,562,830		
釣銭資金	985,000		
売上現金	6,809,325		
送付現金	2,030		
小口現金	365,591		
普通預金	194,166,501		
京都銀行	127,013,800		
下鴨支店 37378	32,930,921		
下鴨支店 37394	11,394,359		
下鴨支店 37409	6,131,596		
下鴨支店 37417	2,223,489		
聖護院支店 1013604	21,692,102		
山科中央支店 3787613	5,241,001		
山科中央支店 3815272	3,633,090		
伏見支店 3782053	2,442,925		
伏見支店 3808489	6,712,715		
上桂支店 4018762	8,221,590		
上桂支店 4032835	9,237,190		
鞍馬口支店 3945825	5,013,752		
鞍馬口支店 3945833	1,870,750		
鞍馬口支店 3955404	1,669,380		
太秦安井支店 3280522	3,754,155		
太秦安井支店 3294058	4,844,785		
三菱東京UFJ銀行	45,261,494		
京都支店 1359024	29,556,741		
京都支店 3101660	13,382,292		
京都支店 3934618	188,954		
聖護院支店 4519834	2,133,507		
京都中央信用金庫	6,781,496		
北烏丸支店 795260	8,501		
北烏丸支店 643950	22,894		
北烏丸支店 792567	6,750,101		
京都信用金庫	12,415,468		
北山支店 651677	12,415,468		
三井住友銀行	1,442,852		
京都支店 8687048	6,750		
京都支店 8724872	1,436,102		
三井住友信託銀行	103,320		
京都四条支店 8392994	96,557		
京都支店 6244598	6,763		
りそな銀行	30,000		
京都支店 222148	30,000		
滋賀銀行	7,748		
北大路支店 510424	7,748		
ゆうちょ銀行	1,110,323		
京都北山郵便局 304711	1,110,323		
振替口座	65,671,595		
ゆうちょ銀行 00920-0-157467(京響)	42,213,840		
ゆうちょ銀行 00930-5-41940(事業課)	13,738,365		
ゆうちょ銀行 00960-9-41950(事業課)	8,191,750		
ゆうちょ銀行 00930-3-232814(東部)	500		
ゆうちょ銀行 00920-3-254913(呉竹)	500		

財産目録総括表

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
ゆうちょ銀行 00900-4-300947(北)	424,100	
ゆうちょ銀行 00950-5-183264(右京)	1,102,540	
現金預金合計	273,562,872	
(2)その他の流動資産		
未収金	105,204,501	
自主事業	19,182,365	
助成金	31,201,000	
受託事業料	32,745,372	
ホール利用料等	1,762,500	
付帯設備料等	13,026,487	
その他未収金	7,286,777	
貯蔵品	4,966,355	
グッズ	2,097,138	
照明材料	2,869,217	
立替金	361,071	
光熱水料	361,071	
その他の流動資産合計	110,531,927	
流動資産合計		384,094,799
2. 固定資産		
(1)基本財産		
京都市債	83,000,000	
平成20年度第5回公募公債	83,000,000	
定期預金	20,000,000	
京都銀行下鴨支店	10,000,000	
三菱東京UFJ銀行京都支店	10,000,000	
基本財産合計	103,000,000	
(2)特定資産		
記念事業引当資産	158,186,000	
国債	49,970,000	
普通預金 京都銀行下鴨支店	36,216,000	
定期預金 京都信用金庫北山支店	10,000,000	
定期預金 りそな銀行京都支店	10,000,000	
普通預金 京都銀行下鴨支店	52,000,000	
管理運営引当資産	369,305,805	
京都市債	159,980,000	
国債	15,090,000	
京都府債	49,990,000	
定期預金 京都中央信用金庫北烏丸支店	10,000,000	
定期預金 滋賀銀行北大路支店	10,000,000	
定期預金 三井住友信託銀行京都支店	10,000,000	
定期預金 三井住友銀行京都支店	10,000,000	
普通預金 京都銀行下鴨支店	104,245,805	
退職給付引当資産	214,572,367	
京都市債	89,995,000	
京都府債	20,000,000	
定期預金 三井住友信託銀行京都四条支店	10,000,000	
定期預金 みずほ信託銀行京都支店	10,000,000	
普通預金 京都銀行下鴨支店	84,577,367	
特定資産合計	742,064,172	
(3)その他固定資産		
什器備品	13,136,487	
電話加入権	314,370	
その他の固定資産合計	13,450,857	
固定資産合計		858,515,029
資産合計		1,242,609,828

財産目録総括表

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	204,104,156		
事業公演料等	8,949,492		
受託公演委託料等	893,977		
建物管理委託料等	25,575,934		
施設整備料等	3,415,807		
人件費	59,425,910		
光熱水料	12,824,536		
消費税等・事業所税	38,140,500		
その他	54,878,000		
前受金	91,345,270		
スペシャルメンバーズ会費	12,432,000		
友の会会費	32,068,500		
入場料	118,800		
ホール利用料等	45,469,450		
プレイガイド事務手数料	1,256,520		
預り金	57,425,210		
入場料	27,607,333		
施設料等	18,134,677		
社会保険料	6,265,017		
源泉税・住民税	4,638,558		
その他	779,625		
仮受金	23,000		
仮受金	23,000		
流動負債合計		352,897,636	
2. 固定負債			
退職給付引当金	214,572,367		
固定負債合計		214,572,367	
負債合計			567,470,003
正味財産			675,139,825

財 産 目 録

平成24年3月31日現在

【一般会計】

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	7,979,380		
現金	80,770		
釣銭資金	885,000		
売上現金	6,723,535		
送付現金	2,030		
小口現金	288,045		
普通預金	135,849,774		
京都銀行	115,619,441		
下鴨支店 37378	32,930,921		
下鴨支店 37409	6,131,596		
下鴨支店 37417	2,223,489		
聖護院支店 1013604	21,692,102		
山科中央支店 3787613	5,241,001		
山科中央支店 3815272	3,633,090		
伏見支店 3782053	2,442,925		
伏見支店 3808489	6,712,715		
上桂支店 4018762	8,221,590		
上桂支店 4032835	9,237,190		
鞍馬口支店 3945825	5,013,752		
鞍馬口支店 3945833	1,870,750		
鞍馬口支店 3955404	1,669,380		
太秦安井支店 3280522	3,754,155		
太秦安井支店 3294058	4,844,785		
三菱東京UFJ銀行	18,970,797		
京都支店 1359024	16,648,336		
京都支店 3934618	188,954		
聖護院支店 4519834	2,133,507		
京都中央信用金庫	31,395		
北烏丸支店 795260	8,501		
北烏丸支店 643950	22,894		
三井住友銀行	6,750		
京都支店 8687048	6,750		
三井住友信託銀行	103,320		
京都四条支店 8392994	96,557		
京都支店 6244598	6,763		
滋賀銀行	7,748		
北大路支店 510424	7,748		
ゆうちょ銀行	1,110,323		
京都北山郵便局 304711	1,110,323		
振替口座	23,457,755		
ゆうちょ銀行 00930-5-41940(事業課)	13,738,365		
ゆうちょ銀行 00960-9-41950(事業課)	8,191,750		
ゆうちょ銀行 00930-3-232814(東部)	500		
ゆうちょ銀行 00920-3-254913(呉竹)	500		
ゆうちょ銀行 00900-4-300947(北)	424,100		
ゆうちょ銀行 00950-5-183264(右京)	1,102,540		
現金預金合計	167,286,909		

財 産 目 録

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
(2) その他の流動資産		
未収金	67,759,672	
自主事業	7,246,288	
助成金	14,871,000	
受託事業料	24,402,500	
ホール利用料等	1,762,500	
付帯設備料等	13,026,487	
その他未収金	6,450,897	
貯蔵品	3,240,437	
グッズ	371,220	
照明材料	2,869,217	
立替金	361,071	
光熱水料等	361,071	
その他の流動資産合計	71,361,180	
流動資産合計		238,648,089
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
京都市債	83,000,000	
平成20年度第5回公募公債	83,000,000	
定期預金	20,000,000	
京都銀行下鴨支店	10,000,000	
三菱東京UFJ銀行京都支店	10,000,000	
基本財産合計	103,000,000	
(2) 特定資産		
記念事業引当資産	86,186,000	
国債	49,970,000	
普通預金 京都銀行下鴨支店	36,216,000	
管理運営引当資産	369,305,805	
京都市債	159,980,000	
国債	15,090,000	
京都府債	49,990,000	
定期預金 京都中央信用金庫北烏丸支店	10,000,000	
定期預金 滋賀銀行北大路支店	10,000,000	
定期預金 三井住友信託銀行京都支店	10,000,000	
定期預金 三井住友銀行京都支店	10,000,000	
普通預金 京都銀行下鴨支店	104,245,805	
退職給付引当資産	214,572,367	
京都市債	89,995,000	
京都府債	20,000,000	
定期預金 三井住友信託銀行京都四条支店	10,000,000	
定期預金 みずほ信託銀行京都支店	10,000,000	
普通預金 京都銀行下鴨支店	84,577,367	
特定資産合計	670,064,172	
(3) その他固定資産		
什器備品	2,694,517	
電話加入権	314,370	
その他の固定資産合計	3,008,887	
固定資産合計		776,073,059
資産合計		1,014,721,148

財 産 目 録

平成24年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	102,164,965		
事業公演料等	7,597,278		
建物管理委託料等	24,294,603		
施設整備料等	3,128,947		
人件費	27,940,106		
光熱水料	12,556,792		
消費税等・事業所税	23,842,500		
その他	2,804,739		
前受金	59,915,970		
スペシャルメンバーズ会費	12,432,000		
友の会会費	758,000		
ホール利用料等	45,469,450		
プレイガイド事務手数料	1,256,520		
預り金	54,452,819		
入場料	27,188,110		
施設料等	18,134,677		
社会保険料	6,213,618		
源泉税・住民税	2,136,789		
その他	779,625		
仮受金	1,000		
仮受金	1,000		
流動負債合計		216,534,754	
2. 固定負債			
退職給付引当金	214,572,367		
固定負債合計		214,572,367	
負債合計			431,107,121
正味財産			583,614,027

財 産 目 録

平成24年3月31日現在

【京響運営特別会計】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金預金		
現金	5,745,396	
現金	5,482,060	
釣銭資金	100,000	
売上現金	85,790	
小口現金	77,546	
普通預金	58,316,727	
京都銀行	11,394,359	
下鴨支店 37394	11,394,359	
三菱東京UFJ銀行	26,290,697	
京都支店 1359024	12,908,405	
京都支店 3101660	13,382,292	
京都中央信用金庫	6,750,101	
北烏丸支店 792567	6,750,101	
京都信用金庫	12,415,468	
北山支店 651677	12,415,468	
三井住友銀行	1,436,102	
京都支店 8724872	1,436,102	
りそな銀行	30,000	
京都支店 222148	30,000	
振替口座	42,213,840	
ゆうちょ銀行 00920-0-157467	42,213,840	
現金預金合計	106,275,963	
(2) その他の流動資産		
未収金	37,444,829	
自主事業	11,936,077	
助成金	16,330,000	
受託事業料	8,342,872	
その他未収金	835,880	
貯蔵品	1,725,918	
グッズ	1,725,918	
その他の流動資産合計	39,170,747	
流動資産合計		145,446,710
2. 固定資産		
(1) 特定資産		
記念事業引当資産		
定期預金 京都信用金庫北山支店	10,000,000	
定期預金 りそな銀行京都支店	10,000,000	
普通預金 京都銀行下鴨支店	52,000,000	
特定資産合計	72,000,000	
(2) その他固定資産		
什器備品	10,441,970	
その他の固定資産合計	10,441,970	
固定資産合計		82,441,970
資産合計		227,888,680

財 産 目 録

平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	101,939,191		
事業公演料等	1,352,214		
受託公演委託料等	893,977		
建物管理委託料等	1,281,331		
施設整備料等	286,860		
人件費	31,485,804		
光熱水料	267,744		
消費税等	14,298,000		
その他	52,073,261		
前受金	31,429,300		
友の会会費	31,310,500		
入場料	118,800		
預り金	2,972,391		
入場料	419,223		
社会保険料	51,399		
源泉税・住民税	2,501,769		
仮受金	22,000		
仮受金	22,000		
流動負債合計		136,362,882	
負債合計			136,362,882
正味財産			91,525,798

キャッシュフロー計算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュフロー			
1 当期一般正味財産増減額	92,906,646	419,086,292	△ 326,179,646
2 キャッシュフローへの調整額			
①減価償却額	11,425,395	17,476,370	△ 6,050,975
②固定資産寄付	4,434,150	0	4,434,150
③記念事業引当金の増減額	0	△ 106,150,000	106,150,000
④管理運営引当金の増減額	0	△ 340,000,000	340,000,000
⑤退職給付引当金の増減額	△ 53,983,633	32,645,000	△ 86,628,633
⑥未収金の増減額	16,394,209	△ 34,983,159	51,377,368
⑦仮払金の増減額	569,599	△ 569,599	1,139,198
⑧貯蔵品の増減額	△ 785,413	△ 1,374,901	589,488
⑨立替金の増減額	1,736,219	△ 1,734,218	3,470,437
⑩未払金の増減額	△ 30,173,202	△ 36,522,215	6,349,013
⑪前受金の増減額	14,742,920	△ 2,027,350	16,770,270
⑫預り金の増減額	△ 16,456,691	10,635,431	△ 27,092,122
⑬仮受金の増減額	△ 19,848,950	19,854,146	△ 39,703,096
小計	△ 71,945,397	△ 442,750,495	370,805,098
事業活動によるキャッシュフロー	20,961,249	△ 23,664,203	44,625,452
II 投資活動によるキャッシュフロー			
1 投資活動収入			
①記念事業引当資産の取崩収入	27,140,000	19,964,000	7,176,000
②管理運営引当資産の取崩収入	102,903,932	42,500,000	60,403,932
投資活動収入計	130,043,932	62,464,000	67,579,932
2 投資活動支出			
①記念事業引当資産の取得支出	25,200,000	46,800,000	△ 21,600,000
②管理運営引当資産の取得支出	98,945,805	0	98,945,805
③退職給付引当資産の取得支出	48,920,299	32,645,000	16,275,299
④固定資産取得支出	10,694,824	4,372,820	6,322,004
投資活動支出計	183,760,928	83,817,820	99,943,108
投資活動によるキャッシュフロー	△ 53,716,996	△ 21,353,820	△ 32,363,176
III 財務活動によるキャッシュフロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物等の増減額	△ 32,755,747	△ 45,018,023	12,262,276
V 現金及び現金同等物等の期首残高	306,318,619	351,336,642	△ 45,018,023
VI 現金及び現金同等物等の期末残高	273,562,872	306,318,619	△ 32,755,747

(注) 資金の範囲 資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

- (1) 会計方針
新公益法人会計基準（平成16年10月14日付 公益法人指導監督連絡会議）に基づいて処理を行った。
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
当財団会計規程第20条に従い、償却費の計算は定率法により行っており、勘定記入の方法は直接法により行っている。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金については、職員の退職金の支払に備えるため、財団の規程に基づき算出した要支給額の全額を引き当てている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の取扱いについては、税込処理方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の財源等の残高

基本財産及び特定資産の財源等の残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
京都市債	83,000,000	0	0	83,000,000
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	132,986,000	25,200,000	0	158,186,000
管理運営引当資産	297,500,000	98,945,805	27,140,000	369,305,805
退職給付引当資産	268,556,000	48,920,299	102,903,932	214,572,367
小 計	699,042,000	173,066,104	130,043,932	742,064,172
合 計	802,042,000	173,066,104	130,043,932	845,064,172

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
京都市債	83,000,000	(55,000,000)	(28,000,000)	0
定期預金	20,000,000	0	(20,000,000)	0
小 計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	0
特定資産				
記念事業引当資産	158,186,000	0	(158,186,000)	0
管理運営引当資産	369,305,805	0	(369,305,805)	0
退職給付引当資産	214,572,367	0	0	(214,572,367)
小 計	742,064,172	0	(527,491,805)	(214,572,367)
合 計	845,064,172	(55,000,000)	(575,491,805)	(214,572,367)

4. 固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品(一般会計)	36,869,459	34,174,942	2,694,517
什器備品(特別会計)	33,761,600	23,319,630	10,441,970

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

【一般会計】

(単位：円)

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
助成金 優れた劇場・音楽堂からの 創造発信事業 交付者 文化庁	0	14,871,000	14,871,000	0
音楽公演助成 交付者 公益財団法人ロー ムミュージックファンデーション	0	300,000	300,000	0
地域福祉活動事業助成金 交付者 社会福祉法人京 都市北区社会福祉協議会	0	30,000	30,000	0
合 計	0	15,201,000	15,201,000	0

【京響運営特別会計】

(単位：円)

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金 財団運営事業補助金 交付者 京都市	0	623,662,067	623,662,067	0
助成金 芸術創造活動重点支援事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	68,200,000	68,200,000	0
オーケストラのコンサートとCD発行 交付者 公益財団法人ロー ムミュージックファンデーション	0	2,600,000	2,600,000	0
音楽公演助成 交付者 公益財団法人ロー ムミュージックファンデーション	0	5,000,000	5,000,000	0
公演助成 交付者 財団法人アフィニス 文化財団	0	500,000	500,000	0
広告助成 交付者 社団法人日本 オーケストラ連盟	0	30,000	30,000	0
合 計	0	699,992,067	699,992,067	0

収支計算書総括表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	京響運営特別会計
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
基本財産運用収入	1,242,162	1,242,162	0
特定資産運用収入	3,625,403	3,625,403	0
事業収入	1,592,938,515	1,265,287,324	327,651,191
補助金等収入	623,662,067	0	623,662,067
雑収入	4,241,113	3,777,585	463,528
事業活動収入合計	2,225,709,260	1,273,932,474	951,776,786
2 事業活動支出			
事業費支出	433,220,945	217,134,822	216,086,123
管理費支出	1,738,491,170	1,036,959,193	701,531,977
事業活動支出合計	2,171,712,115	1,254,094,015	917,618,100
事業活動収支差額	C = A - B	19,838,459	34,158,686
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
特定資産取崩収入	130,043,932	130,043,932	0
投資活動収入合計	D	130,043,932	0
2 投資活動支出			
特定資産取得支出	173,066,104	147,866,104	25,200,000
固定資産取得支出	10,694,824	1,988,994	8,705,830
投資活動支出合計	E	149,855,098	33,905,830
投資活動収支差額	F = D - E	△ 19,811,166	△ 33,905,830
III 予備費支出	G	0	0
当期収支差額	H = C + F + G	27,293	252,856
前期繰越収支差額	I	18,845,605	7,105,054
次期繰越収支差額	H + I	18,872,898	7,357,910

収 支 計 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

【一般会計】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入				
基本財産運用収入				
基本財産利息等収入	1,300,000	1,242,162	57,838	基本財産の利息
基本財産運用収入合計	1,300,000	1,242,162	57,838	
基本財産運用収入合計	1,300,000	1,242,162	57,838	
②特定資産運用収入				
特定資産運用収入				
特定資産受取利息等収入	3,500,000	3,625,403	△ 125,403	特定資産の利息
特定資産運用収入合計	3,500,000	3,625,403	△ 125,403	
特定資産運用収入合計	3,500,000	3,625,403	△ 125,403	
③事業収入				
自主・共催事業収入				
入場料収入	82,043,000	64,839,835	17,203,165	
参加料収入	3,610,000	3,580,420	29,580	
スペシャルメンバーズ会費収入	15,150,000	14,048,000	1,102,000	412口
友の会会費収入	3,000,000	1,688,000	1,312,000	1,688人
広告収入	17,600,000	17,522,100	77,900	
共催事業収入	28,041,000	26,221,162	1,819,838	共催事業負担金 (音楽祭事業等)
助成金収入	25,440,000	15,201,000	10,239,000	
物品販売等収入	2,710,000	2,476,012	233,988	プログラム・グッズ等
自主・共催事業収入合計	177,594,000	145,576,529	32,017,471	
事業受託収入				
事業受託収入	38,093,000	47,516,216	△ 9,423,216	京都市各局・京響関連
事業受託収入合計	38,093,000	47,516,216	△ 9,423,216	
管理受託収入				
管理受託収入	674,827,000	677,327,000	△ 2,500,000	京都市受託料
管理受託収入合計	674,827,000	677,327,000	△ 2,500,000	
利用料金収入				
ホール利用料金収入	347,929,000	348,005,390	△ 76,390	利用料収入 付属設備利用料収入
駐車場利用料金収入	29,000,000	29,952,700	△ 952,700	CH, 西, 右京
利用料金収入合計	376,929,000	377,958,090	△ 1,029,090	
その他付帯事業収入				
企画・演出手数料等収入	9,200,000	9,968,612	△ 768,612	舞台照明等の企画
プレイバック事務手数料収入	11,800,000	6,940,877	4,859,123	チケット販売手数料
その他付帯事業収入合計	21,000,000	16,909,489	4,090,511	
事業収入合計	1,288,443,000	1,265,287,324	23,155,676	
④雑収入				
雑収入				
受取利息等収入	1,000	1,271	△ 271	
管理手数料等収入	3,911,000	3,691,505	219,495	自動販売機手数料等
雑収入	0	84,809	△ 84,809	
雑収入合計	3,912,000	3,777,585	134,415	
雑収入合計	3,912,000	3,777,585	134,415	
事業活動収入合計	1,297,155,000	1,273,932,474	23,222,526	

収 支 計 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
自主・共催事業費支出				
臨時雇賃金支出	541,000	347,694	193,306	楽器運搬補助
旅費交通費支出	1,210,000	834,990	375,010	出演者交通費等
通信運搬費支出	3,434,000	1,612,257	1,821,743	楽器運搬・送料
消耗品費支出	2,773,000	842,723	1,930,277	
印刷製本費支出	21,333,000	15,165,322	6,167,678	チラシ・プログラム等
広告費支出	13,003,000	9,190,067	3,812,933	新聞・地下鉄掲載等
賃借料支出	59,778,000	52,104,240	7,673,760	ホール利用等
保険料支出	630,000	188,052	441,948	団体傷害保険
租税公課支出	288,000	59,200	228,800	収入印紙
負担金支出	520,000	48,000	472,000	参加会費
ｽﾍﾟｼｬﾙﾒﾝﾊﾞｰｽﾞﾁｬｯｼﾞ購入支出	15,150,000	14,048,000	1,102,000	ｽﾍﾟｼｬﾙﾒﾝﾊﾞｰｽﾞ 案内用ﾁｬｯｼﾞ
支援事業助成金支出	7,500,000	2,352,500	5,147,500	
委託費支出	123,271,000	101,017,608	22,253,392	出演料・公演料 舞台経費等
手数料等支出	1,055,000	1,033,151	21,849	
雑支出	1,440,000	55,829	1,384,171	著作権料等
自主・共催事業費支出合計	251,926,000	198,899,633	53,026,367	
受託事業費支出				
臨時雇賃金支出	150,000	131,952	18,048	楽器運搬補助
旅費交通費支出	149,000	111,270	37,730	出演者交通費等
通信運搬費支出	360,000	296,622	63,378	楽器運搬・送料
消耗品費支出	455,000	451,659	3,341	
印刷製本費支出	120,000	94,500	25,500	チラシ・プログラム等
賃借料支出	3,072,000	3,059,054	12,946	借譜料等
保険料支出	11,000	10,682	318	団体傷害保険
租税公課支出	41,000	40,800	200	収入印紙
委託費支出	14,120,000	14,030,670	89,330	出演料・公演料等
手数料等支出	14,000	7,980	6,020	
雑支出	59,000	0	59,000	支払手数料等
受託事業費支出合計	18,551,000	18,235,189	315,811	
事業費支出合計	270,477,000	217,134,822	53,342,178	
②管理費支出				
管理費支出				
役員報酬支出	7,200,000	6,866,284	333,716	専務理事1名、理事会等報酬
給料手当支出	344,000,000	338,733,348	5,266,652	職員62名 市派遣職員2名
退職給付支出	14,200,000	13,939,841	260,159	退職者2名
臨時雇賃金支出	19,250,000	19,133,054	116,946	臨時職員11名
福利厚生費支出	61,000,000	60,510,765	489,235	保険料等
会議費支出	600,000	417,747	182,253	理事会・評議員会
旅費交通費支出	1,800,000	1,711,850	88,150	
通信運搬費支出	5,000,000	4,295,218	704,782	電信電話料等
消耗什器備品支出	1,500,000	1,137,579	362,421	録音機器等
消耗品費支出	14,790,000	13,934,993	855,007	舞台・清掃用品等
修繕費支出	47,000,000	46,253,418	746,582	施設整備修繕
印刷製本費支出	4,000,000	3,746,892	253,108	利用案内等
広告費支出	861,000	860,500	500	
燃料費支出	10,000	0	10,000	
光熱水費支出	159,500,000	157,578,658	1,921,342	電気・ガス・水道等
賃借料支出	2,053,000	1,730,604	322,396	事務機器リース料
保険料支出	600,000	547,470	52,530	施設賠償責任保険
諸謝金支出	3,000,000	2,705,939	294,061	顧問料
租税公課支出	39,290,000	39,276,962	13,038	消費税・事業所税等

収 支 計 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
負担金支出	11,800,000	11,647,395	152,605	年会費・参加会費等 設備管理・清掃・警備 舞台運営管理等 来客飲物
委託費支出	311,184,000	310,745,603	438,397	
接遇交際費支出	200,000	23,910	176,090	
手数料等支出	1,800,000	1,157,488	642,512	
雑支出	240,000	3,675	236,325	
管理費支出合計	1,050,878,000	1,036,959,193	13,918,807	
管理費支出合計	1,050,878,000	1,036,959,193	13,918,807	
事業活動支出合計	1,321,355,000	1,254,094,015	67,260,985	
事業活動収支差額	△ 24,200,000	19,838,459	△ 44,038,459	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入				
特定資産取崩収入				
管理運営引当資産取崩収入	82,000,000	27,140,000	54,860,000	
退職給付引当資産取崩収入	103,400,000	102,903,932	496,068	
特定資産取崩収入合計	185,400,000	130,043,932	55,356,068	
特定資産取崩収入合計	185,400,000	130,043,932	55,356,068	
投資活動収入合計	185,400,000	130,043,932	55,356,068	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
特定資産取得支出				
管理運営引当資産取得支出	99,200,000	98,945,805	254,195	
退職給付引当資産取得支出	49,000,000	48,920,299	79,701	
特定資産取得支出合計	148,200,000	147,866,104	333,896	
特定資産取得支出合計	148,200,000	147,866,104	333,896	
② 固定資産取得支出				
固定資産取得支出				
什器備品購入支出	3,000,000	1,988,994	1,011,006	
固定資産取得支出合計	3,000,000	1,988,994	1,011,006	
固定資産取得支出合計	3,000,000	1,988,994	1,011,006	
投資活動支出合計	151,200,000	149,855,098	1,344,902	
投資活動収支差額	34,200,000	△ 19,811,166	54,011,166	
Ⅲ 予備費支出	10,000,000	0	10,000,000	
当期収支差額	0	27,293	△ 27,293	
前期繰越収支差額	18,845,605	18,845,605	0	
次期繰越収支差額	18,845,605	18,872,898	△ 27,293	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金・未収金・立替金・仮払金・未払金・前受金・預り金・仮受金を含めている。前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	188,330,254	167,286,909
未収金	69,509,289	67,759,672
立替金	2,097,290	361,071
仮払金	569,599	0
合計	260,506,432	235,407,652
未払金	107,612,465	102,164,965
前受金	43,609,700	59,915,970
預り金	70,765,412	54,452,819
仮受金	19,673,250	1,000
合計	241,660,827	216,534,754
次期繰越収支差額	18,845,605	18,872,898

収 支 計 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

【京響運営特別会計】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①事業収入				
自主・共催事業収入				
入場料収入	39,752,000	47,385,350	△ 7,633,350	個人906人, 法人86社
友の会会費収入	39,860,000	43,724,500	△ 3,864,500	
広告収入	3,040,000	3,040,000	0	
共催事業収入	13,972,000	14,184,133	△ 212,133	共催事業負担金
助成金収入	54,200,000	76,330,000	△ 22,130,000	
物品販売等収入	1,160,000	2,071,854	△ 911,854	
自主・共催事業収入合計	151,984,000	186,735,837	△ 34,751,837	
事業受託収入				
事業受託収入	149,947,000	140,915,354	9,031,646	
事業受託収入合計	149,947,000	140,915,354	9,031,646	
事業収入合計	301,931,000	327,651,191	△ 25,720,191	
②補助金等収入				
地方公共団体補助金収入				
京都市補助金	649,492,000	623,662,067	25,829,933	京都市派遣職員
地方公共団体補助金収入合計	649,492,000	623,662,067	25,829,933	
補助金等収入合計	649,492,000	623,662,067	25,829,933	
③雑収入				
雑収入				
管理手数料等収入	0	111,020	△ 111,020	
雑収入	132,000	352,508	△ 220,508	楽器保険金, 託児料金
雑収入合計	132,000	463,528	△ 331,528	
雑収入合計	132,000	463,528	△ 331,528	
事業活動収入合計	951,555,000	951,776,786	△ 221,786	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
自主・共催事業費支出				
臨時雇賃金支出	1,223,000	1,222,006	994	楽器運搬補助
旅費交通費支出	7,130,000	7,129,505	495	出演者交通費等
通信運搬費支出	4,989,000	4,988,709	291	楽器運搬・送料
消耗品費支出	1,970,000	1,969,957	43	
商品費支出	2,404,000	2,403,933	67	
見本費支出	11,000	10,660	340	
印刷製本費支出	10,489,000	10,488,075	925	チラシ・プログラム等
広告費支出	16,181,000	16,180,833	167	新聞・地下鉄掲載等
賃借料支出	28,363,000	28,362,902	98	ホール利用等
諸謝金支出	629,000	628,320	680	団体傷害保険
租税公課支出	28,000	27,600	400	収入印紙
委託費支出	66,765,000	66,764,412	588	出演料・公演料
手数料等支出	1,001,000	1,000,838	162	
雑支出	1,384,000	1,383,441	559	著作権料等
自主・共催事業費支出合計	142,567,000	142,561,191	5,809	
受託事業費支出				
臨時雇賃金支出	1,488,000	1,487,409	591	楽器運搬補助
旅費交通費支出	12,877,000	12,876,130	870	出演者交通費等
通信運搬費支出	3,928,000	3,927,140	860	楽器運搬・送料
消耗品費支出	408,000	407,376	624	
賃借料支出	4,683,000	4,682,539	461	借譜料等
諸謝金支出	20,000	20,000	0	
租税公課支出	117,000	116,600	400	収入印紙
委託費支出	49,780,000	49,779,910	90	出演料・公演料等
手数料等支出	141,000	140,628	372	
雑支出	88,000	87,200	800	支払手数料等
受託事業費支出合計	73,530,000	73,524,932	5,068	
事業費支出合計	216,097,000	216,086,123	10,877	

収 支 計 算 書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
②管理費支出				
管理費支出				
給料手当支出	533,491,000	533,478,919	12,081	職員92名
臨時雇賃金支出	1,837,000	1,836,309	691	臨時職員
福利厚生費支出	75,337,000	75,336,175	825	保険料等
旅費交通費支出	722,000	721,580	420	
通信運搬費支出	1,379,000	1,378,363	637	電信電話料等
消耗什器備品支出	1,755,000	1,754,550	450	録音機器等
消耗品費支出	10,023,000	10,022,561	439	舞台・清掃用品等
修繕費支出	5,733,000	5,732,361	639	施設整備修繕
印刷製本費支出	788,000	787,395	605	
広告費支出	2,188,000	2,187,948	52	
光熱水費支出	4,331,000	4,330,282	718	電気・ガス・水道等
賃借料支出	17,198,000	17,197,895	105	事務機器リース料
保険料支出	1,389,000	1,388,480	520	楽器保険
租税公課支出	15,083,000	15,082,600	400	消費税・法人税等
負担金支出	814,000	814,000	0	年会費・参加会費等
委託費支出	28,324,000	28,323,886	114	設備管理・清掃・警備
接遇交際費支出	22,000	21,828	172	来客飲物
手数料等支出	340,000	339,630	370	
雑支出	798,000	797,215	785	
管理費支出合計	701,552,000	701,531,977	20,023	
管理費支出合計	701,552,000	701,531,977	20,023	
事業活動支出合計	917,649,000	917,618,100	30,900	
事業活動収支差額	33,906,000	34,158,686	△ 252,686	
Ⅱ投資活動収支の部				
1. 投資活動支出				
①特定資産取得支出				
特定資産取得支出				
記念事業引当資産取得支出	25,200,000	25,200,000	0	
管理運営引当資産取得支出	0	0	0	
特定資産取得支出合計	25,200,000	25,200,000	0	
特定資産取得支出合計	25,200,000	25,200,000	0	
②固定資産取得支出				
固定資産取得支出				
什器備品購入支出	8,706,000	8,705,830	170	
固定資産取得支出合計	8,706,000	8,705,830	170	
固定資産取得支出合計	8,706,000	8,705,830	170	
投資活動支出合計	33,906,000	33,905,830	170	
投資活動収支差額	△ 33,906,000	△ 33,905,830	△ 170	
Ⅲ予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	252,856	△ 252,856	
前期繰越収支差額	7,105,054	7,105,054	0	
次期繰越収支差額	7,105,054	7,357,910	△ 252,856	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金・未収金・未払金・前受金・預り金・仮受金を含めている。
前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	117,988,365	106,275,963
未収金	52,089,421	37,444,829
合 計	170,077,786	143,720,792
未払金	126,664,893	101,939,191
前受金	32,992,650	31,429,300
預り金	3,116,489	2,972,391
仮受金	198,700	22,000
合 計	162,972,732	136,362,882
次期繰越収支差額	7,105,054	7,357,910